

帯広市立小中学校
適正規模の確保等に関する計画
(後期計画)

(案)

令和 年 月
帯広市教育委員会

目 次

1	計画策定の趣旨等	
	(1) 背景	1
	(2) 目指す教育の姿	1
	(3) 本計画の位置付け	2
	(4) 計画の期間	2
2	児童生徒数等の将来推計	
	(1) 児童生徒数等の推計方法	3
	(2) 今後の児童生徒数の推移	4
	(3) 学校別児童生徒数及び学級数の将来推計	5
3	前期計画期間の取り組み	
	(1) 大空学園義務教育学校の開校	7
	(2) 小規模交流授業の実施	7
	(3) 教育に関する意識調査の実施	7
4	適正規模の確保等に関する取り組み	
	(1) 学校の配置状況	8
	(2) 取り組みの進め方	9
5	適正規模の確保等に関する取り組みにあたっての留意事項	
	(1) 地域協議に向けた基本姿勢	14
	(2) より良い教育環境の整備	14
	(3) 旧学校施設の活用方法	15
資料編		
	資料1 学校別児童生徒数及び学校規模（学級数）の将来推計	17
	資料2 地区（地域）ごとのカルテ	22
	1 東地区	
	2 鉄南地区	
	3 川北地区	
	4 西地区	
	5 西帯広地区	
	6 南地区	
	7 農村地域	
	資料3 意見交換会等の開催状況と主な意見	51
	資料4 教育に関する意識調査結果の概要（抜粋版）	56

1 計画策定の趣旨等

(1) 背景

少子化の進行による将来の児童生徒数の減少がもたらす影響が懸念される中、帯広市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、平成28年9月に帯広市立小中学校適正規模・適正配置市民検討委員会から受けた『帯広市立小中学校の学校規模等に関する報告書』の内容を最大限に尊重しつつ、子どもたち一人ひとりの資質や能力を十分に伸ばしていくことのできるより良い教育環境を目指し、平成29年2月に『帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する基本方針』（以下「基本方針」という。）を策定しました。

基本方針は、小中学校の適正規模の確保等に関する取り組みの基本的な考え方を示したものであり、この基本方針に基づいて平成30年4月に『帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画』（以下「全体計画」という。）を策定しました。全体計画を前期計画と後期計画に区分し、前期計画（平成30年度～令和4年度）では大空中学校を対象校に選定し、取り組みを進めてきましたが、この度、後期計画期間を迎えるにあたり、令和9年度までの期間で具体的な取り組みを推進していくこととします。

(2) 目指す教育の姿

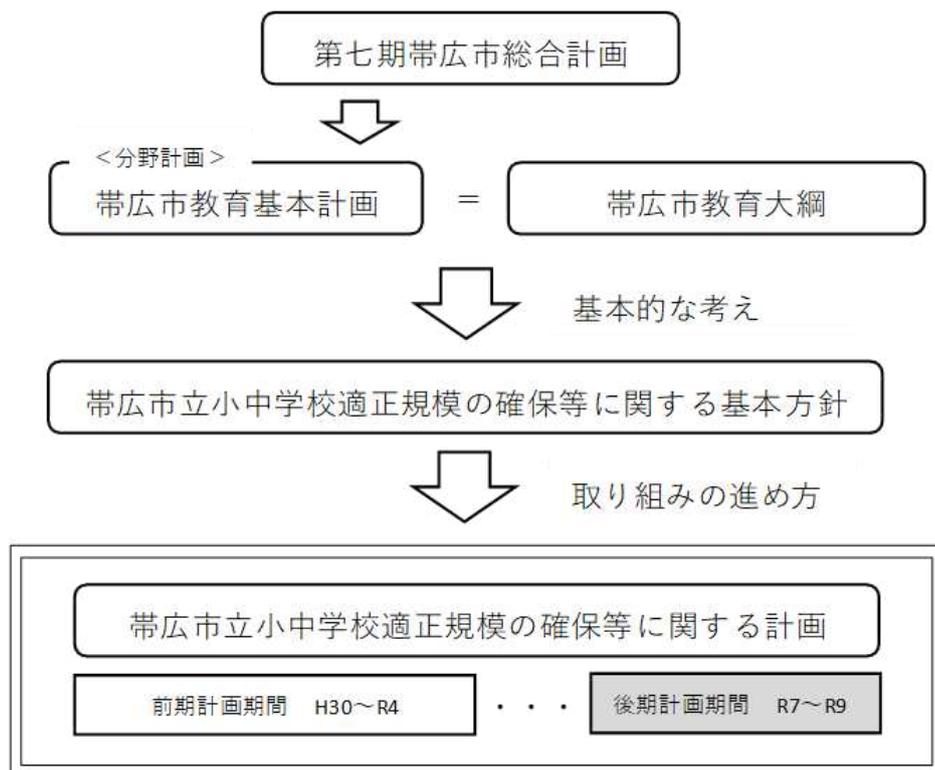
急速な技術革新やグローバル化の進展など社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中、義務教育においては、小学校と中学校の9年間を通じて系統的な教育を行う小中一貫教育の推進の他、ICTなどを活用したきめ細やかな指導体制の整備による「個別最適な学び」や「協働的な学び」など「令和の日本型学校教育」の実現に向け、教育環境が大きく変化してきており、児童生徒が自分自身の良さや可能性を認識し、主体的に課題に向き合い多様な人々と協働し、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています。

教育委員会では、帯広市教育基本計画の基本理念である「ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育」を実現するため、学校教育分野においては「夢の実現に向けて自立し互いに支え合う人づくり」を基本目標に掲げ、教育施策を進めています。

こうしたことを踏まえて、地域全体で子どもたちの健やかな成長を支える考え方を保護者や地域住民と共有し、相互に協力しながら、新しい時代を切り拓く人づくり・地域づくりをはかるため、「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画（後期計画）」（以下「本計画」という。）に基づき、より良い教育環境の整備を進めてまいります。

(3) 本計画の位置付け

全体計画は、基本方針に基づいて、適正規模の確保等に関する取り組みの進め方を示すもので、本計画は後期計画期間（令和7～9年度）の取り組みを示すものとします。なお、個別の学校に関わる具体的な取り組み内容については、保護者、地域住民、学校関係者などで構成する地域検討委員会からの意見等をもとに別途策定する実施計画に基づいて進めます。



(4) 計画の期間

全体計画の期間は、平成30年度から令和9年度までの10年間としており、当初は計画期間を前期計画期間（平成30年度～令和4年度）と後期計画期間（令和5年度～令和9年度）に区分していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、計画の取り組みが見送られてきたため、後期計画は計画策定時の令和7年度から令和9年度までの取り組みについて示すものとします。

2 児童生徒数等の将来推計

本計画において、適正規模の確保等を検討するための基礎資料として、令和8年度から令和17年度までの10年間の小中学校及び義務教育学校の児童生徒数及び学級数を、以下の条件及び方法により推計しました。

(1) 児童生徒数等の推計方法

本計画の児童生徒数の推計にあたっては、以下の条件の下、「コーホート変化率法」(※)を用いて推計をしました。

農村地域については、コーホート変化率法を用いず、令和7年5月1日(以下「基準日」という。)現在の児童生徒数及び未就学児数が次年度以降もその校区で新学年に進む「単純進行」により推計しました。

なお、川西小・川西中学校区は、大規模な宅地開発が行われたことから、コーホート変化率法と単純進行を併用して推計しています。

※ コーホート変化率法

基準となる年における年齢別実績人口をもとに、その基準年から一定期間の年齢別の人口動態を「変化率」として求め、その変化率に基づき将来人口を推計する方法であり、比較的近い将来人口の推計に用いられるもの。

<推計方法の考え方>

- ・ 基準日現在の学校基本調査による児童生徒数を基礎として算出。
- ・ コーホート変化率法では、令和2年度から令和6年度までの学校区ごとの住民基本台帳人口の1歳刻みの変化率を使用して算出。
- ・ 推計期間中の出生数は、推計方法に関わらず、直近の人口動態統計(厚生労働省)で公表されている本市の15歳から49歳までの女性の年齢別の出生率とそれぞれに該当する年齢別の女性の人口を乗じて算出。
- ・ 清流地区など大規模な宅地開発が伴う場合は、児童生徒数の増加を加味して算出。

<特別支援学級に在籍する児童生徒数>

- ・ 基準日時点で特別支援学級に在籍している児童生徒は、単純進行で特別支援学級に在籍するものとして算出。
- ・ 新入生は、本市全体の児童生徒数に占める特別支援学級に在籍する基準日の児童数の割合を乗じて算出。

<学級編制>

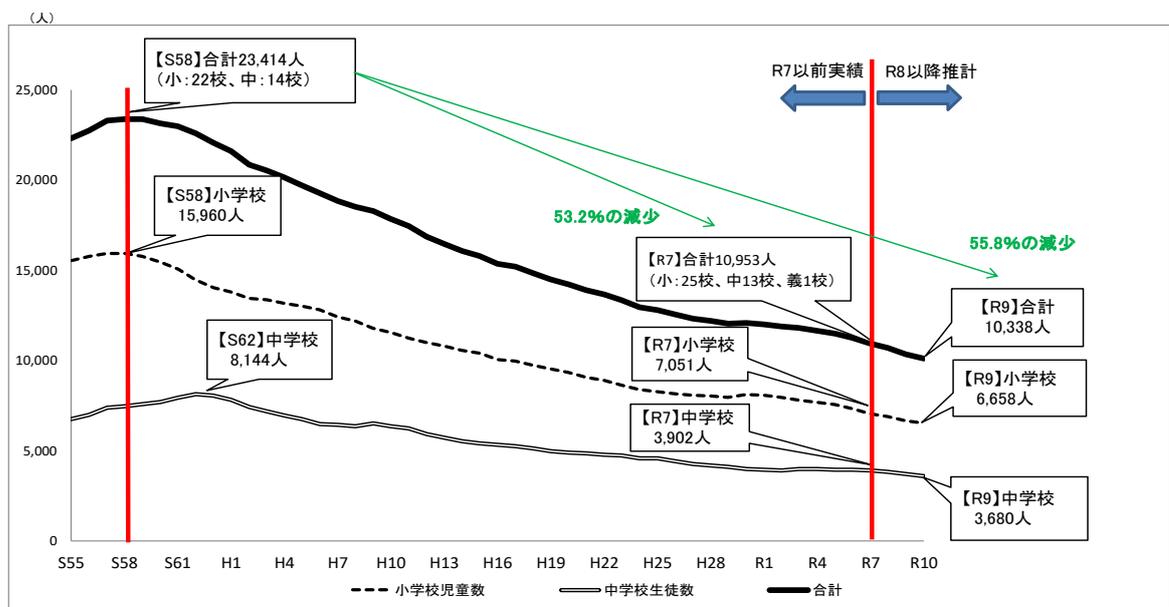
- ・通常学級1学級あたりの児童生徒数は、現行の北海道教育委員会の義務教育諸学校学級編制基準規則で定める人数（小学校第1～6学年は35人、中学校第2～3学年は40人）及び少人数学級実践研究事業による人数（中学校第1学年は2学級以上で1学級あたり35人）に基づき算出。
 - ・小学校において連続する二つの学年で16人（第1学年を含む場合は8人）以下の場合及び中学校において連続する二つの学年で8人以下の場合は、複式学級として算出。
 - ・特別支援学級は、障害の種別ごとに8人編制で算出。
- ※ 義務教育学校については、前期課程は小学校、後期課程は中学校の基準を用いる。

(2) 今後の児童生徒数の推移

計画期間の最終年度である令和9年度には令和7年度対比で、小学校及び義務教育学校前期課程の児童数で393人（△5.5%）、中学校及び義務教育学校後期課程の生徒数222人（△5.6%）の減少が見込まれます。

また、推計を行った期間の最終年度である令和17年度には、令和7年度対比で、小学校及び義務教育学校前期課程の児童数で1,241人（△17.6%）、中学校及び義務教育学校後期課程の生徒数で980人（△25.1%）の減少が見込まれます。

◆ 児童生徒数の推移及び将来推計



※ 各年度の5月1日現在の児童生徒数により作成し、令和8年度以降は推計値で作成。
 ※ 令和4年度に開校した大空学園義務教育学校については前期課程を小学校、後期課程を中学校の人数に合算

(3) 学校別児童生徒数及び学級数の将来推計

各小中学校及び義務教育学校の今後10年間の児童生徒数等の推計は、以下のとおりです。全体的に学校の小規模化が進んでいくものと見込まれます。

[小学校]

(単位：人・学級)

区分	令和7年度（実績値）				令和8年度（推計値）				令和9年度（推計値）				令和17年度（推計値）			
	児童数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数
帯広小	166	11	7	4	156	11	7	4	156	11	7	4	170	10	6	4
西小	154	10	6	4	157	10	6	4	155	10	6	4	121	9	6	3
柏小	351	20	12	8	357	20	12	8	338	20	12	8	262	19	11	8
明星小	365	19	12	7	344	19	12	7	338	19	12	7	319	19	12	7
緑丘小	461	24	14	10	435	21	13	8	409	20	12	8	354	20	12	8
北栄小	287	19	12	7	278	16	11	5	268	15	10	5	239	15	11	4
光南小	333	18	12	6	318	18	12	6	330	18	12	6	293	18	12	6
東小	198	10	6	4	205	11	7	4	194	10	6	4	169	10	6	4
啓西小	347	19	11	8	310	18	11	7	278	16	10	6	273	17	11	6
稲田小	516	26	17	9	501	24	16	8	492	24	15	9	491	26	17	9
豊成小	575	27	19	8	560	26	18	8	511	24	16	8	418	20	13	7
大空学園（前期）	328	21	12	9	328	21	12	9	319	19	11	8	330	19	11	8
栄小	324	17	12	5	323	17	12	5	317	18	12	6	290	17	12	5
若葉小	483	25	14	11	470	25	14	11	446	23	13	10	389	22	12	10
広陽小	344	22	12	10	365	22	12	10	381	22	12	10	331	21	12	9
花園小	173	12	6	6	172	12	6	6	171	12	6	6	147	12	6	6
啓北小	336	18	12	6	330	18	12	6	311	18	12	6	215	12	8	4
開西小	218	12	9	3	214	12	9	3	215	12	9	3	134	9	6	3
明和小	242	14	9	5	236	12	7	5	235	12	7	5	234	11	6	5
森の里小	221	15	8	7	212	14	7	7	196	11	6	5	187	10	6	4
つじが丘小	218	13	6	7	206	13	6	7	201	12	6	6	155	9	6	3
川西小	211	12	6	6	216	12	6	6	216	12	6	6	167	10	6	4
清川小	38	4	3	1	37	4	3	1	34	4	3	1	27	4	3	1
広野小	25	5	3	2	25	5	3	2	27	5	3	2	13	4	3	1
大正小	115	9	6	3	111	9	6	3	102	9	6	3	65	9	6	3
愛國小	22	5	3	2	19	4	3	1	16	3	3	1	17	4	3	1
計	7,051	407	249	158	6,885	394	243	151	6,656	379	233	147	5,810	356	223	133

(単位：学級)

区分		令和7年度（実績値）		令和8年度（推計値）		令和9年度（推計値）		令和17年度（推計値）	
		市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校
通常学級	1～5学級	0	3	0	3	0	3	0	3
	6～11学級	9	2	10	2	11	2	13	2
	12～18学級	11	0	11	0	10	0	8	0
	19～24学級	1	0	0	0	0	0	0	0

【中学校】

(単位：人・学級)

区分	令和7年度(実績値)				令和8年度(推計値)				令和9年度(推計値)				令和17年度(推計値)			
	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数
第一中	458	18	12	6	446	19	12	7	432	17	11	6	292	14	9	5
第二中	206	10	6	4	196	9	6	3	191	9	6	3	148	8	5	3
第四中	292	13	9	4	289	12	9	3	295	13	9	3	271	11	9	2
第五中	323	16	9	7	338	17	10	7	327	16	9	7	210	11	6	5
第八中	445	20	12	8	429	20	12	8	399	19	11	8	311	16	9	7
大空学園(後期)	154	9	6	3	161	9	6	3	153	9	6	3	135	7	4	3
南町中	651	25	17	8	618	24	16	8	607	26	17	9	501	20	14	6
西陵中	379	17	10	7	365	17	10	7	346	16	9	7	280	15	9	6
緑園中	274	15	9	6	261	13	7	6	232	11	6	5	167	10	6	4
翔陽中	497	21	13	8	488	19	12	7	475	19	12	7	443	18	12	6
川西中	109	6	3	3	107	6	3	3	115	6	3	3	96	5	3	2
清川中	30	5	3	2	23	5	3	2	23	5	3	2	17	4	3	1
八千代中	11	3	2	1	10	2	2	0	11	2	2	0	10	3	2	1
第七中	73	5	3	2	77	5	3	2	73	5	3	2	41	4	3	1
計	3,902	183	114	69	3,808	177	111	66	3,679	173	107	65	2,922	146	94	52

(単位：学級)

区分	令和7年度(実績値)		令和8年度(推計値)		令和9年度(推計値)		令和17年度(推計値)	
	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校
通常学級	1~2学級	0	1	0	1	0	1	0
	3~5学級	0	3	0	3	0	3	2
	6~8学級	2	0	3	0	3	0	2
	9~11学級	4	0	3	0	5	0	4
	12~18学級	4	0	4	0	2	0	2

(単位：人・学級)

区分	令和7年度(実績値)				令和8年度(推計値)				令和9年度(推計値)				令和17年度(推計値)			
	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数
小中学校合計	10,953	590	363	227	10,693	571	354	217	10,335	552	340	212	8,732	502	317	185

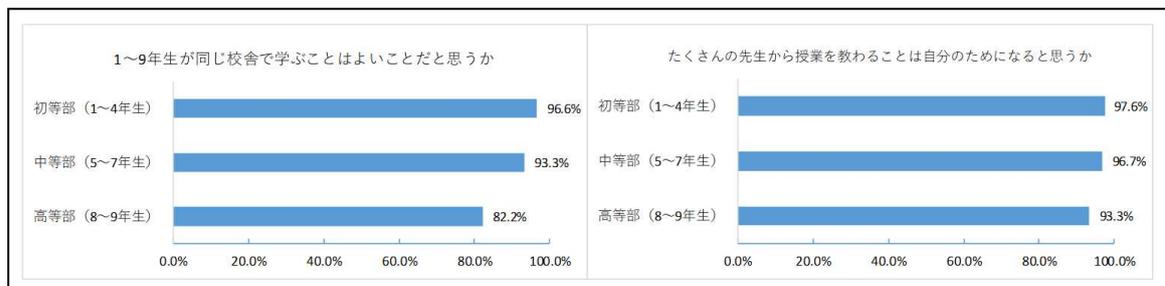
3 前期計画期間の取り組み

(1) 大空学園義務教育学校の開校

前期計画では市街地で最も小規模化が見込まれる大空中学校を対象校に選定し、近隣の大空小学校と統合して帯広市内では初となる施設一体型の義務教育学校を令和4年に開校しました。

1年生から9年生までが同一校舎で過ごし、すべての学年が各種行事等を合同で実施しています。小学校と中学校が一体となった児童・生徒の様子も見られ、毎年2回児童・生徒、保護者、教職員を対象に実施している学校評価アンケートにおいても高い評価を受けています。

◆ 学校評価アンケート「グラウンドデザインに基づく学校評価（抜粋）」（令和6年7月） 「よく当てはまる」「おおむね当てはまる」と回答した割合



(2) 小規模交流授業の実施

児童生徒推計で前期計画期間最終年度の令和4年度に「検討が必要な学校（6学級以下の小学校、6学級未満の中学校、複式学級となる農村部の小中学校）」を対象に近隣校との交流授業（ICTを活用した総合学習や合同での体育の授業等）を実施しました。

(3) 教育に関する意識調査の実施

今後の学校教育の推進のための基礎資料とするため、令和5年度に小学校5年生及び中学校2年生の児童生徒及びその保護者を対象にアンケートを実施しました。

◆ アンケート結果（抜粋）

小中学校の一学年あたりの学級数ほどの程度がよいと考えますか。				小中学校の一学級あたりの児童生徒数はどの程度がよいと考えますか。			
回答選択肢	小学生	中学生	保護者	回答選択肢	小学生	中学生	保護者
①多い方がいい(5学級以上)	8.4%	5.6%	5.7%	①40人程度	18.1%	10.1%	1.9%
②極端に多くなければいい(3～4学級)	26.3%	50.4%	52.9%	②30人程度	52.8%	68.1%	71.3%
③クラス替えができればいい(2学級)	36.9%	24.4%	30.6%	③20人程度	23.3%	18.0%	25.9%
④1学級がいい	22.9%	14.7%	7.2%	④10人程度	5.8%	3.8%	0.9%
⑤複式学級でもいい	5.5%	4.9%	3.6%	計	100.0%	100.0%	100.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%				

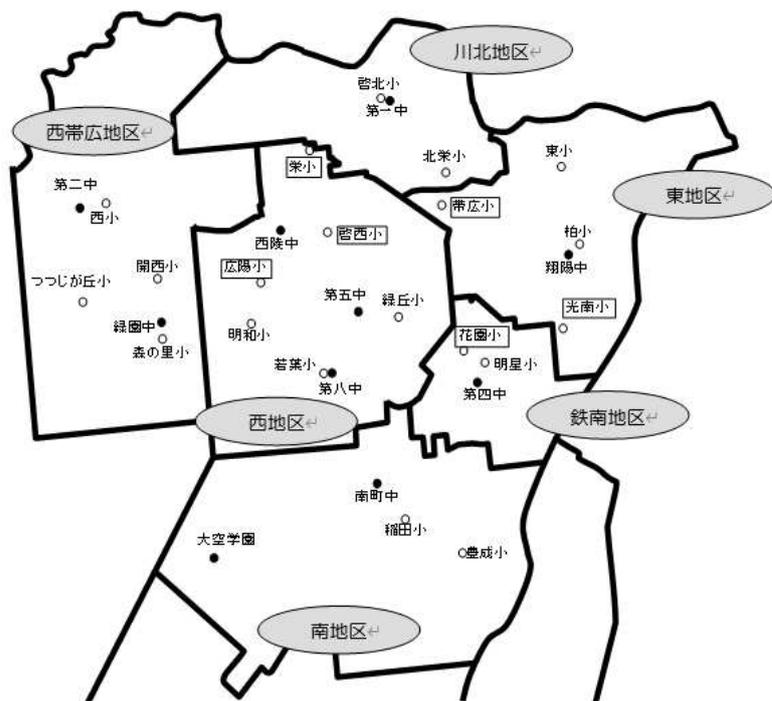
4 適正規模の確保等に関する取り組み

(1) 学校の配置状況

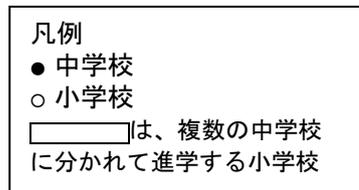
市内の小中学校は、現在小学校25校、中学校13校、義務教育学校1校あり、その配置は下図のとおりです。

(地区の境界線は、地区に属する中学校の通学区域を合わせたものです。)

【市街地】小学校 20校 中学校 9校 義務教育学校 1校



【農村地域】小学校 5校 中学校 4校



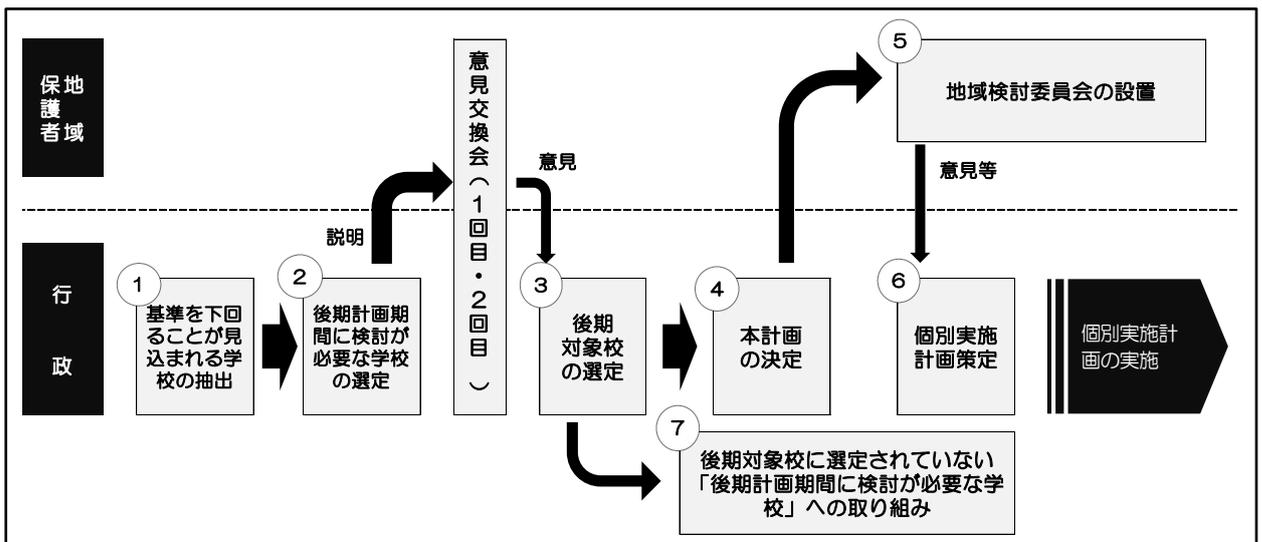
農村地域では小学校と中学校の通学区域が一致していますが、市街地では、複数の中学校に分かれて進学する小学校が6校あります。

(2) 取り組みの進め方

小規模校は、一人ひとりに目が届き、きめ細かな指導を行いやすいなどのメリットがある一方で、学校規模に起因する人間関係の固定化や集団活動の制約などのデメリットがあります。それらのデメリットを緩和するため、学校における様々な教育方法の工夫や地域による支援の取り組みが行われています。

そうした状況を考慮して、学校の適正規模の確保等に関する取り組みは、基本方針で定めた「適正な学校規模の基準」を今後も下回ることが見込まれる小規模校について、単に児童生徒数だけを根拠に全ての学校を一律に進めるのではなく、優先度を踏まえた上で計画的に進めるために、教育環境に与える影響や近隣校の状況、保護者や地域住民の意見等を考慮し、早期に取り組むべき学校の選定を行うものです。

よって、適正規模の確保等に関する取り組みは、基本的に次の手順により対象校を選定した上で実施します。なお、ここでは、「後期対象校」選定までの取り組みとその後の取り組みまでの全ての工程を記述しています。



① 「適正な学校規模の基準」を下回ることが見込まれる学校の抽出

「2(3) 学校別児童生徒数及び学級数の将来推計」で示した児童生徒数等の推計値と、基本方針で定めた下欄の「適正な学校規模の基準」(以下「基準」という。)を照らし合わせ、後期計画期間終了年度である令和9年度時点で基準を下回ることが見込まれる全ての学校を抽出します。

◆ 適正な学校規模の基準

小学校	通常学級 12学級～24学級に、特別支援学級を加えた学級数
中学校	通常学級 9学級～18学級に、特別支援学級を加えた学級数
農村地域の 小中学校	通常学級 1学年 1学級以上に、特別支援学級を加えた学級数

※ 大空学園義務教育学校の前期課程は小学校、後期課程は中学校の基準を用いている。

● 今回の推計において、上記基準を下回るが見込まれる学校

小学校	帯広小、西小、北栄小、東小、啓西小、花園小、開西小、明和小森の里小、つつじが丘小
中学校	第二中、緑園中
農村地域の 小中学校	清川小、広野小、愛國小、八千代中

◆ 各学校の通常学級数の推計値及び基準を下回ることが見込まれる学校

(単位：学級)

学校名		令和7年度 (実績値)	令和8年度 (推計値)	令和9年度 (推計値)	令和9年度において 基準を下回ることが 見込まれる学校
市 街 地	帯広小	7	7	7	○
	西小	6	6	6	○
	柏小	13	12	12	
	明星小	12	12	12	
	緑丘小	14	14	12	
	北栄小	12	12	10	○
	光南小	12	12	12	
	東小	6	7	6	○
	啓西小	12	12	10	○
	稲田小	18	17	15	
	豊成小	19	19	16	
	大空学園(前期)	12	12	11	※
	栄小	12	12	12	
	若葉小	15	15	13	
	広陽小	12	12	12	
	花園小	6	6	6	○
	啓北小	12	12	12	
	開西小	9	9	9	○
	明和小	10	8	7	○
森の里小	9	8	6	○	
つつじが丘小	7	7	6	○	
農 村 地 域	川西小	7	6	7	
	清川小	4	3	4	○
	広野小	4	3	3	○
	大正小	6	6	6	
	愛国小	3	3	3	○
市 街 地	第一中	13	13	11	
	第二中	7	6	6	○
	第四中	10	9	9	
	第五中	9	9	9	
	第八中	13	12	11	
	大空学園(後期)	6	6	6	※
	南町中	16	18	17	
	西陵中	10	10	9	
	緑園中	9	8	6	○
	翔陽中	13	13	12	
農 村 地 域	川西中	3	4	4	
	清川中	3	3	3	
	八千代中	2	2	2	○
	第七中	3	3	3	

※ 大空学園義務教育学校は前期計画期間で取り組みを実施したため除く。

②「後期計画期間に検討が必要な学校」の選定

児童生徒数の減少や学校の小規模化が進む中で、できる限り小規模校、大規模校の両方のメリットが生かされるような学校規模とすることが、より良い教育環境の構築につながります。

一般的には学校規模が小さくなるほど、人間関係の固定化、運動会や部活動など学校行事や集団活動の制約、さらには教員配置数の減少など、小規模校のデメリットがより一層顕著になるものと考えられます。

このため、①で抽出した基準を下回ることが見込まれる学校のうち、令和9年度時点で、全ての学年でクラス替ができない通常学級6学級以下の小学校及びクラス替ができない学年が生じる通常学級6学級未満の中学校で、その後も同じ傾向で推移する学校を「後期計画期間に検討が必要な学校」とします。

また、農村地域では、1学年1学級を下回り、複式学級となる小中学校を「後期計画期間に検討が必要な学校」とします。

小学校	西小、東小、花園小、森の里小、つつじが丘小、清川小、広野小、愛国小
中学校	八千代中

③「後期対象校」の選定

学校は、児童生徒の教育の場であるとともに、地域活動、防災、スポーツ・文化の活動の場など地域コミュニティに関わる役割も併せて有しています。そのため、「後期対象校」の選定にあたっては、保護者はもとより地域住民と課題認識を共有し、取り組みへの理解を得る必要があることから、②で選定した学校を対象とした保護者や地域住民との意見交換会を令和6年度と令和7年度に実施しました。

意見交換会では、一定規模の集団の中で学ぶことの必要性について理解を示す一方で、学校を存続して小規模校のメリットを活かした教育を行なうべきとの意見も多く寄せられ、これらの意見や学校を取り巻く教育環境などを十分加味し検討した結果、教育委員会は、後期計画期間に具体的な取り組みを進める「後期対象校」を次のとおり選定します。

後期対象校	八千代中、広野小
選定理由	<p>(八千代中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級編成基準上「複式学級」に該当し、今後も生徒数の増加が見込まれない状況であり、学習活動や学校行事などの集団活動に制約が生じることや教職員の減少により学校運営上の課題が懸念されること。 <p>(広野小)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画期間内に児童数の大きな減少は見られないが、小規模校特有の教育活動（学校行事・集団活動等）上の制約などのほか、進学先である八千代中との小中一貫教育に関する取り組みやコミュニティ・スクールの合同設置など、小中のつながりが極めて強いことから、両校を包括的に検討していく必要があること。 <p>(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広野小、八千代中地区の意見交換会では、学校の小規模化に伴う児童生徒の学校生活などの課題認識から、今後の学校の在り方について具体的な検討を求める意見が多かったこと。

④ 本計画の決定

「後期対象校」の選定後、本計画を決定します。

⑤ 地域検討委員会の設置

本計画で選定した八千代中及び広野小の保護者、地域住民、学校関係者などで構成する地域検討委員会を合同で設置し、当該校の適正規模の確保等に関する取り組みについて協議し、教育委員会に意見等を提出していただきます。

⑥ 個別実施計画の策定・実施

教育委員会は、地域検討委員会からいただいた意見等をもとに、当該校の適正規模の確保等に関する具体的な取り組みを個別実施計画としてまとめます。個別実施計画の推進にあたっては、保護者や地域住民の意見もいただきながら進めます。

⑦ 後期対象校に選定されていない「後期計画期間に検討が必要な学校」への取り組み

対象校以外の学校についても、児童生徒数の減少が進むと見込まれるため、近隣校との交流などを通じて、児童生徒がより多くの仲間との学び合い等を経験するなど、学校の小規模化による影響の緩和に努めるとともに、今後の取り組みの推進に向け、保護者や地域住民への情報提供や意見交換などを行います。

5 適正規模の確保等に関する取り組みにあたっての留意事項

(1) 地域協議に向けた基本姿勢

ア 保護者等への配慮

取り組みは、行政だけで進めるのではなく、保護者等に情報提供や丁寧な説明を行い、目指す教育の姿や課題を共有し、その意見を尊重して検討していく必要があります。取り組みを進めるにあたっては、行政の考え方を説明する機会、保護者や地域住民の意見を聴く機会をより多く設けます。

イ 通学の安全確保と負担軽減

通学における児童生徒の安全確保や負担を軽減することが不可欠であり、やむを得ず遠距離通学となる場合、教育委員会は、交通機関等の通学手段を講じることを含めて検討します。

ウ 地域コミュニティへの配慮

学校は、児童生徒の教育施設であるだけでなく、その地域に暮らす住民にとって災害時の避難所や選挙の投票所、地域の交流の場など、地域の拠点施設としての機能も有しています。

また、児童生徒は、地域における見守り活動やあいさつ運動などを通じて、地域の中で育まれています。

取り組みを進めるにあたっては、こうした「地域とともにある学校づくり」にも配慮して進めます。

エ 情報の提供

学校の適正規模の確保等に関する取り組みの情報は、今後とも対象校の保護者や地域住民はもとより、広く市民に対して積極的な情報の提供に努め、情報を共有しながら取り組みを進めます。

(2) より良い教育環境の整備

ア 通学区域の見直し

小中学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保等に関する取り組みと合わせ、通学距離、幹線道路、河川等の地路的条件や地域コミュニティとの整合性や一つの小学校から複数の中学校に分かれた進学の解消などに配慮し、通学区域の見直しを進めます。

イ 学校の統合の検討

将来とも児童生徒の増加が見込めず、小規模化の解消を図ることができない学校にあつては、近隣校との統合についても検討します。

統合を進める場合、対象校の教育環境については、統合が実施されるまでの間も良質な環境が維持されるよう引き続き学校施設の整備などに配慮します。また、統合による新校への円滑な移行のため、対象校間での事前交流、統合後の継続的な人員配置についても配慮し、新校への移行がスムーズに行われるよう進めます。

ウ 小規模特認校の指定拡大の検討

農村地域で特色ある教育を実践する学校への通学区域外からの入学を認める小規模特認校制度を充実させることが、恵まれた教育環境を生かした児童の学力向上等に資するだけでなく、農村地域の学校における児童数の確保の可能性を広げるものと考えことから、小中学校のつながりも含めて小規模特認校の指定拡大を検討します。

エ 小中一貫教育の推進

本市では、平成31年2月に策定した『帯広市小中一貫教育推進基本方針』に基づき、これまで取り組んできたエリア・ファミリー構想を基盤として、これを段階的に発展させ、各エリアの実情に応じた小中一貫教育の推進を図り、義務教育の9年間を通じた連続的・継続的な教育に取り組んでいます。小規模化の影響を緩和するための方策の一つとして、小中一貫教育の取り組みについても配慮して進めます。

オ 学校施設の長寿命化計画との調整

平成31年2月に策定した「帯広市学校施設長寿命化計画」を推進するにあたっては、適正規模の確保等に関する取り組みとの調整を図りながら進めます。また、これらの取り組みには、一定の期間を要することから、その間においても良質な環境が維持されるよう学校施設の整備などに配慮します。

カ 小規模校を対象とした交流の促進

人間関係の固定化や集団活動の制約など、小規模化の影響を緩和するための方策の一つとして、平成30年から近隣校の交流授業を実施しています。ICTなども活用して、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れる機会や学び合いの機会を提供します。

(3) 旧学校施設の活用方法

統合等により学校として使用しなくなる施設や土地については、地域の意見にも配慮しつつ、幅広く有効な活用方法を検討します。

<資料編>

学校別児童生徒数及び学校規模（学級数）の将来推計

資料 1

小学校 R7.5.1現在 (単位：人・学級)

学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
帯広小	児童数	166	156	156	164	155	155	167	167	167	172	170
	うち通常学級児童数	142	132	131	141	133	133	143	144	143	148	146
	うち特別支援児童数	24	24	25	23	22	22	24	23	24	24	24
	学級数	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級学級数	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
西小	児童数	154	157	155	154	146	160	154	148	136	134	121
	うち通常学級児童数	124	132	129	128	125	138	133	128	117	115	102
	うち特別支援児童数	30	25	26	26	21	22	21	20	19	19	19
	学級数	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9
	うち通常学級学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	
柏小	児童数	351	357	338	320	297	291	279	261	261	262	262
	うち通常学級児童数	306	313	291	274	254	247	236	221	221	222	223
	うち特別支援児童数	45	44	47	46	43	44	43	40	40	40	39
	学級数	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19
	うち通常学級学級数	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11
うち特別支援学級数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
明星小	児童数	365	344	338	334	318	331	327	333	336	321	319
	うち通常学級児童数	316	298	294	293	276	287	282	286	289	276	274
	うち特別支援児童数	49	46	44	41	42	44	45	47	47	45	45
	学級数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
	うち通常学級学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
うち特別支援学級数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
緑丘小	児童数	461	435	409	389	372	367	361	358	365	361	354
	うち通常学級児童数	385	369	345	327	316	313	307	305	310	308	304
	うち特別支援児童数	76	66	64	62	56	54	54	53	55	53	50
	学級数	24	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	うち通常学級学級数	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12
うち特別支援学級数	10	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
北栄小	児童数	287	278	268	255	244	240	239	245	238	241	239
	うち通常学級児童数	245	238	231	218	209	209	208	215	210	213	211
	うち特別支援児童数	42	40	37	37	35	31	31	30	28	28	28
	学級数	19	16	15	13	13	13	13	13	13	14	15
	うち通常学級学級数	12	11	10	8	8	8	8	9	9	10	11
うち特別支援学級数	7	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	
光南小	児童数	333	318	330	319	322	326	327	330	317	311	293
	うち通常学級児童数	291	278	292	282	283	284	284	287	275	273	257
	うち特別支援児童数	42	40	38	37	39	42	43	43	42	38	36
	学級数	18	18	18	18	18	19	19	19	19	18	18
	うち通常学級学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	7	7	7	7	6	6	
東小	児童数	198	205	194	199	196	196	189	179	181	174	169
	うち通常学級児童数	175	180	168	172	168	169	162	153	155	149	145
	うち特別支援児童数	23	25	26	27	28	27	27	26	26	25	24
	学級数	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級学級数	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
啓西小	児童数	347	310	278	269	266	261	256	266	275	276	273
	うち通常学級児童数	290	255	225	219	215	213	208	216	224	225	220
	うち特別支援児童数	57	55	53	50	51	48	48	50	51	51	53
	学級数	19	18	16	14	14	14	13	14	16	15	17
	うち通常学級学級数	11	11	10	9	9	9	8	9	10	10	11
うち特別支援学級数	8	7	6	5	5	5	5	5	6	5	6	
稲田小	児童数	516	501	492	476	447	446	463	474	487	496	491
	うち通常学級児童数	452	443	430	414	387	383	399	408	418	424	417
	うち特別支援児童数	64	58	62	62	60	63	64	66	69	72	74
	学級数	26	24	24	23	22	22	23	23	24	25	26
	うち通常学級学級数	17	16	15	14	13	13	14	14	15	16	17
うち特別支援学級数	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
豊成小	児童数	575	560	511	509	492	475	432	420	413	418	418
	うち通常学級児童数	523	508	460	462	441	420	380	370	367	370	370
	うち特別支援児童数	52	52	51	47	51	55	52	50	46	48	48
	学級数	27	26	24	23	23	23	21	20	20	20	20
	うち通常学級学級数	19	18	16	15	15	15	14	13	13	13	13
うち特別支援学級数	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	

小学校

R7.5.1現在

(単位：人・学級)

学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
大空学園 (1～6年生)	児童数	328	328	319	306	300	299	307	309	330	333	330
	うち通常学級児童数	262	265	260	249	252	252	259	261	279	281	276
	うち特別支援児童数	66	63	59	57	48	47	48	48	51	52	54
	学級数	21	21	19	19	18	18	18	18	19	19	19
	うち通常学級数	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11
栄小	児童数	324	323	317	324	312	325	320	312	307	293	290
	うち通常学級児童数	288	281	274	280	276	287	282	276	272	260	256
	うち特別支援児童数	36	42	43	44	36	38	38	36	35	33	34
	学級数	17	17	18	18	16	18	18	17	16	17	17
	うち通常学級数	12	12	12	12	11	12	12	12	11	12	12
若葉小	児童数	483	470	446	423	403	379	384	393	388	393	389
	うち通常学級児童数	416	408	387	366	353	329	334	343	338	342	338
	うち特別支援児童数	67	62	59	57	50	50	50	50	50	51	51
	学級数	25	25	23	23	22	21	21	21	21	22	22
	うち通常学級数	14	14	13	13	13	12	12	12	12	12	12
広陽小	児童数	344	365	381	382	366	357	362	344	333	334	331
	うち通常学級児童数	280	303	319	320	308	304	307	292	281	282	279
	うち特別支援児童数	64	62	62	62	58	53	55	52	52	52	52
	学級数	22	22	22	23	22	21	21	21	21	21	21
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
花園小	児童数	173	172	171	177	185	188	182	175	168	162	147
	うち通常学級児童数	139	138	137	145	151	156	150	143	135	129	116
	うち特別支援児童数	34	34	34	32	34	32	32	32	33	33	31
	学級数	12	12	12	12	13	13	13	12	12	12	12
	うち通常学級数	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6	6
啓北小	児童数	336	330	311	300	273	244	236	231	221	217	215
	うち通常学級児童数	299	296	276	264	244	218	211	207	198	195	192
	うち特別支援児童数	37	34	35	36	29	26	25	24	23	22	23
	学級数	18	18	18	17	16	14	14	14	13	12	12
	うち通常学級数	12	12	12	11	11	10	10	10	9	8	8
開西小	児童数	218	214	215	205	191	175	175	166	156	146	134
	うち通常学級児童数	199	194	195	184	171	157	157	149	140	131	120
	うち特別支援児童数	19	20	20	21	20	18	18	17	16	15	14
	学級数	12	12	12	11	10	9	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	9	9	9	8	7	6	6	6	6	6	6
明和小	児童数	242	236	235	242	232	232	233	236	239	236	234
	うち通常学級児童数	208	211	209	218	204	207	209	212	215	211	209
	うち特別支援児童数	34	25	26	24	28	25	24	24	24	25	25
	学級数	14	12	12	14	12	12	13	14	14	12	11
	うち通常学級数	9	7	7	8	7	7	8	9	9	7	6
森の里小	児童数	221	212	196	191	184	174	175	179	184	189	187
	うち通常学級児童数	184	175	164	161	156	151	152	155	159	163	160
	うち特別支援児童数	37	37	32	30	28	23	23	24	25	26	27
	学級数	15	14	11	11	10	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
つつじが丘小	児童数	218	206	201	187	169	159	160	154	155	157	155
	うち通常学級児童数	175	165	160	153	140	132	133	127	128	130	128
	うち特別支援児童数	43	41	41	34	29	27	27	27	27	27	27
	学級数	13	13	12	11	10	10	10	9	9	9	9
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
川西小	児童数	211	216	218	208	193	174	172	170	174	173	167
	うち通常学級児童数	178	180	185	175	160	146	144	142	147	147	142
	うち特別支援児童数	33	36	33	33	33	28	28	28	27	26	25
	学級数	12	12	12	12	11	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	6	6	6	6	5	4	4	4	4	4	4	

小学校

R7.5.1現在

(単位：人・学級)

学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
清川小	児童数	38	37	34	35	31	31	32	32	31	28	27
	うち通常学級児童数	31	32	30	30	27	27	27	27	26	24	23
	うち特別支援児童数	7	5	4	5	4	4	5	5	5	4	4
	学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
広野小	児童数	25	25	27	26	20	16	18	16	13	13	13
	うち通常学級児童数	20	20	21	20	17	14	16	15	12	12	12
	うち特別支援児童数	5	5	6	6	3	2	2	1	1	1	1
	学級数	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
大正小	児童数	115	111	102	97	82	81	77	74	68	65	65
	うち通常学級児童数	101	96	93	90	77	74	71	69	64	61	61
	うち特別支援児童数	14	15	9	7	5	7	6	5	4	4	4
	学級数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
愛国小	児童数	22	19	16	18	20	21	21	21	21	18	17
	うち通常学級児童数	20	18	16	17	19	20	20	20	20	17	16
	うち特別支援児童数	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1
	学級数	5	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	児童数	7,051	6,885	6,658	6,509	6,216	6,103	6,048	5,993	5,964	5,923	5,810
	うち通常学級児童数	6,049	5,928	5,722	5,602	5,362	5,270	5,214	5,171	5,143	5,108	4,997
	うち特別支援児童数	1,002	957	936	907	854	833	834	822	821	815	813
	学級数	407	394	379	374	359	355	354	352	354	353	356
	うち通常学級数	249	243	233	227	223	220	220	221	221	221	223
	うち特別支援学級数	158	151	146	147	136	135	134	131	133	132	133

中学校

R7.5.1現在

(単位：人・学級)

学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
第一中	生徒数	458	446	432	410	397	372	359	341	335	315	292
	うち通常学級生徒数	423	411	399	378	368	346	334	317	312	294	272
	うち特別支援生徒数	35	35	33	32	29	26	25	24	23	21	20
	学級数	18	19	17	17	17	16	16	15	16	14	14
第二中	生徒数	206	196	191	182	195	185	180	162	163	153	148
	うち通常学級生徒数	180	174	168	160	172	163	159	143	144	135	130
	うち特別支援生徒数	26	22	23	22	23	22	21	19	19	18	18
	学級数	10	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8
第四中	生徒数	292	289	295	297	292	279	273	260	268	271	271
	うち通常学級生徒数	261	264	271	274	269	257	252	242	249	251	251
	うち特別支援生徒数	31	25	24	23	23	22	21	18	19	20	20
	学級数	13	12	12	12	12	11	10	10	11	11	11
第五中	生徒数	323	338	327	317	290	284	281	266	236	217	210
	うち通常学級生徒数	285	296	284	275	252	246	244	230	203	185	179
	うち特別支援生徒数	38	42	43	42	38	38	37	36	33	32	31
	学級数	16	17	16	15	15	14	15	14	12	11	11
第七中	生徒数	73	77	73	68	66	60	60	55	49	47	41
	うち通常学級生徒数	62	64	61	57	55	49	49	46	43	41	36
	うち特別支援生徒数	11	13	12	11	11	11	11	9	6	6	5
	学級数	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4
第八中	生徒数	445	429	399	375	391	399	386	360	329	326	311
	うち通常学級生徒数	396	380	348	327	341	349	336	313	286	284	270
	うち特別支援生徒数	49	49	51	48	50	50	50	47	43	42	41
	学級数	20	20	19	19	19	19	19	18	16	16	16
大空学園 (7～9年生)	生徒数	154	161	153	170	162	163	151	160	148	149	135
	うち通常学級生徒数	133	141	138	153	146	147	136	144	133	134	121
	うち特別支援生徒数	21	20	15	17	16	16	15	16	15	15	14
	学級数	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	7
南町中	生徒数	651	618	607	603	595	587	546	549	546	523	501
	うち通常学級生徒数	606	571	553	550	543	535	500	501	498	479	458
	うち特別支援生徒数	45	47	54	53	52	52	46	48	48	44	43
	学級数	25	24	26	24	24	24	22	23	23	22	20
西陵中	生徒数	379	365	346	337	330	320	315	311	301	299	280
	うち通常学級生徒数	330	322	305	296	290	280	275	271	262	261	243
	うち特別支援生徒数	49	43	41	41	40	40	40	40	39	38	37
	学級数	17	17	16	16	15	15	15	15	15	15	15
緑園中	生徒数	274	261	232	228	219	220	209	203	190	182	167
	うち通常学級生徒数	244	231	210	207	200	200	189	184	171	164	150
	うち特別支援生徒数	30	30	22	21	19	20	20	19	19	18	17
	学級数	15	13	11	11	10	10	10	10	10	10	10
翔陽中	生徒数	497	488	475	452	478	474	469	446	446	444	443
	うち通常学級生徒数	444	436	427	401	424	420	415	396	396	394	393
	うち特別支援生徒数	53	52	48	51	54	54	54	50	50	50	50
	学級数	21	19	19	19	20	19	19	18	18	18	18

中学校

R7.5.1現在

(単位：人・学級)

学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
川西中	生徒数	109	107	115	114	112	109	96	99	98	96	96
	うち通常学級生徒数	95	91	99	98	97	94	82	84	84	82	82
	うち特別支援生徒数	14	16	16	16	15	15	14	15	14	14	14
	学級数	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
清川中	生徒数	30	23	23	20	23	18	16	13	15	17	17
	うち通常学級生徒数	27	20	21	18	21	16	15	12	14	16	16
	うち特別支援生徒数	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1
	学級数	5	5	5	5	5	5	3	3	4	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3
八千代中	生徒数	11	10	11	11	15	17	14	11	11	13	10
	うち通常学級生徒数	10	10	11	11	13	15	12	10	10	12	9
	うち特別支援生徒数	1	0	0	0	2	2	2	1	1	1	1
	学級数	3	2	2	2	4	5	4	3	3	3	3
	うち通常学級数	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2
合計	生徒数	3,902	3,808	3,679	3,584	3,565	3,487	3,355	3,236	3,135	3,052	2,922
	うち通常学級生徒数	3,496	3,411	3,295	3,205	3,191	3,117	2,998	2,893	2,805	2,732	2,610
	うち特別支援生徒数	406	397	384	379	374	370	357	343	330	320	312
	学級数	183	177	172	169	169	166	161	157	154	149	146
	うち通常学級数	114	111	107	106	107	105	102	99	98	96	94
うち特別支援学級数	69	66	65	63	62	61	59	58	56	53	52	

地区（地域）ごとのカルテ

1 東地区

中学校	翔陽中	中学校区内の小学校	帯広小（一部）、柏小、光南小（一部）、東小
-----	-----	-----------	-----------------------

(1) 学校（学校区）の特徴

翔陽中	平成 23 年に第三中・第六中を統合し、両校の通学区域を併せた新しい学校として開校しました。生徒数は減少し、通常学級数は 12～13 学級で推移する見込みです。
帯広小	明治 29 年に帯広尋常小学校として開校し、昭和 22 年に現在の帯広小学校に改称しました。児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の 7 学級から令和 11 年度以降は 6 学級で推移する見込みです。 進学先が翔陽中と第五中に分散しています。
柏小	大正 10 年に帯広第二尋常小学校として開校し、昭和 22 年に現在の柏小学校に改称されました。児童数は減少し、通常学級数は現在の 12 学級から令和 12 年度以降は 11 学級で推移する見込みです。
光南小	昭和 29 年に明星小から分離新設しました。児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の 12 学級で推移する見込みです。 進学先が翔陽中、第四中に分散しています。
東小	昭和 30 年に柏小から分離新設しました。児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は令和 8 年度の 7 学級を除き、現在の 6 学級で推移する見込みです。
その他	小学校区を大通、電信通、鉄南火防線などで分けているため、単位町内会が分断されています。

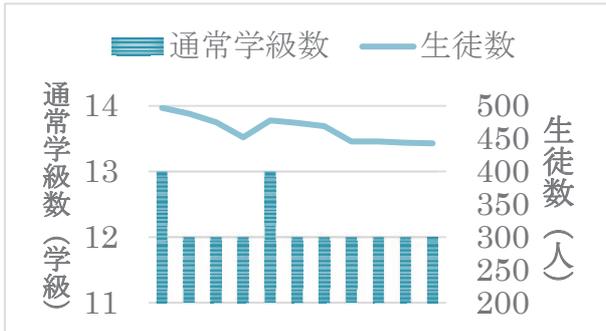
(2) 児童生徒数・学級数の推計（コーホート変化率法）【令和 7 年 5 月 1 日現在】（単位：人・学級）

学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
翔陽中	生徒数	497	488	475	452	478	474	469	446	446	444	443
	うち通常学級生徒数	444	436	427	401	424	420	415	396	396	394	393
	うち特別支援生徒数	53	52	48	51	54	54	54	50	50	50	50
	学級数	21	19	19	19	20	19	19	18	18	18	18
	うち通常学級数	13	12	12	12	13	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	8	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6
帯広小	児童数	166	156	156	164	155	155	167	167	167	172	170
	うち通常学級児童数	142	132	131	141	133	133	143	144	143	148	146
	うち特別支援児童数	24	24	25	23	22	22	24	23	24	24	24
	学級数	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
柏小	児童数	351	357	338	320	297	291	279	261	261	262	262
	うち通常学級児童数	306	313	291	274	254	247	236	221	221	222	223
	うち特別支援児童数	45	44	47	46	43	44	43	40	40	40	39
	学級数	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11
	うち特別支援学級数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
光南小	児童数	333	318	330	319	322	326	327	330	317	311	293
	うち通常学級児童数	291	278	292	282	283	284	284	287	275	273	257
	うち特別支援児童数	42	40	38	37	39	42	43	43	42	38	36
	学級数	18	18	18	18	18	19	19	19	19	18	18
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	7	7	7	7	6	6

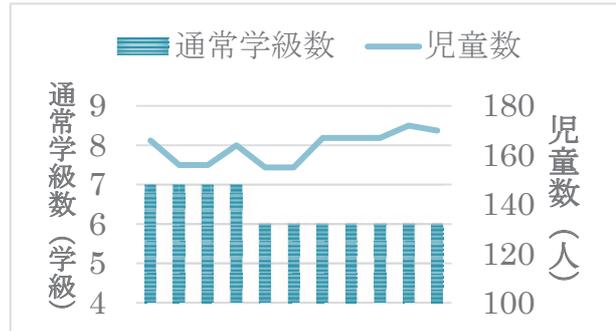
学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
東小	児童数	198	205	194	199	196	196	189	179	181	174	169
	うち通常学級児童数	175	180	168	172	168	169	162	153	155	149	145
	うち特別支援児童数	23	25	26	27	28	27	27	26	26	26	24
	学級数	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

【参考】

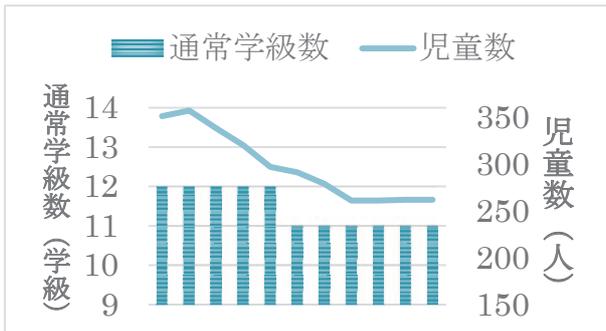
翔陽中 生徒数及び通常学級数の推計



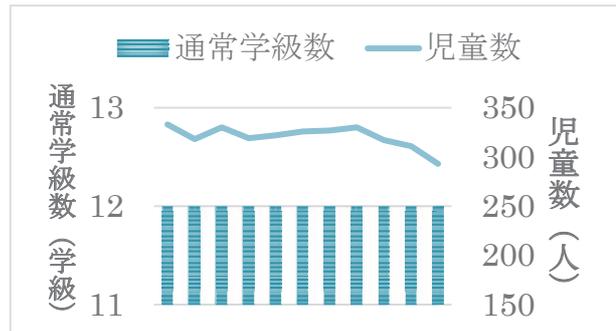
帯広小 児童数及び通常学級数の推計



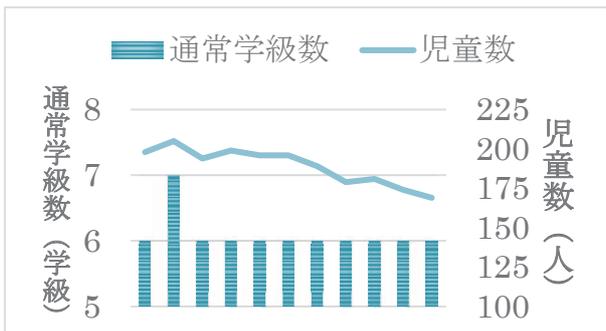
柏小 児童数及び通常学級数の推計



光南小 児童数及び通常学級数の推計



東小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (令和7年度)

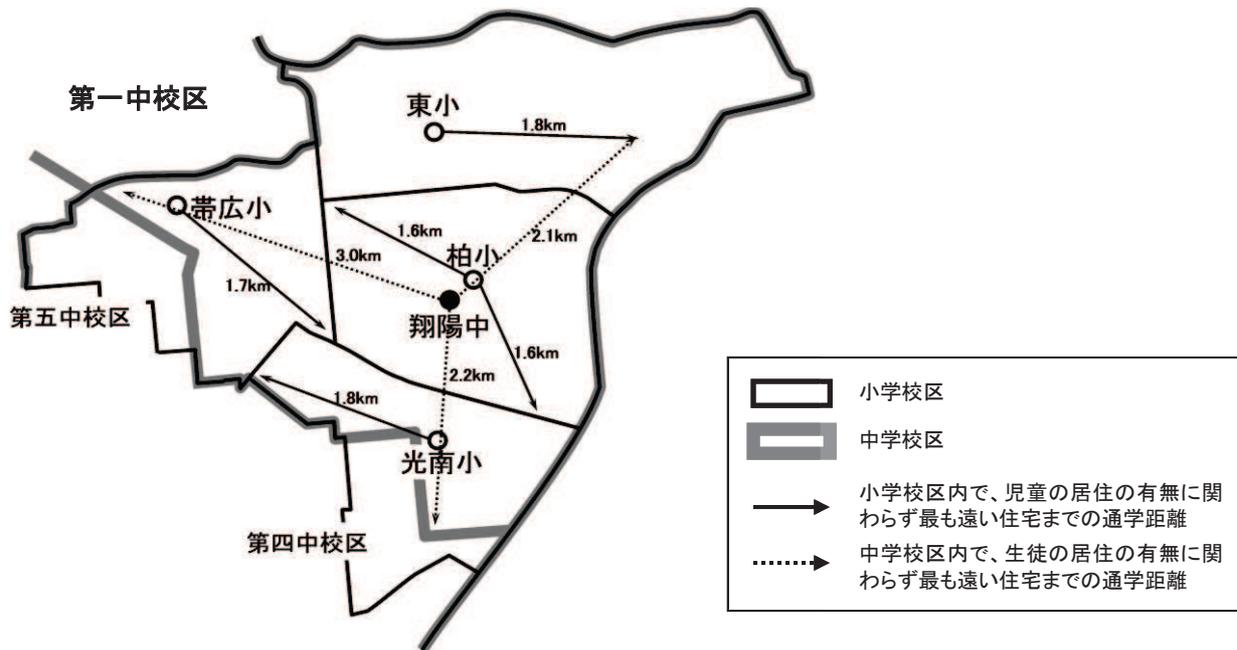
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	養護教諭	事務職員	合計
翔陽中	21.0	3.5	9.0	1.0	1.0	35.5
帯広小	10.0	4.0	5.0	1.0	1.0	21.0
柏小	15.0	2.0	10.0	1.0	1.0	29.0
光南小	15.0	2.0	8.0	1.0	1.0	27.0
東小	9.0	1.0	5.0	1.0	1.0	17.0

※ 教職員配置基準には、校長・教頭含む

※ 0.5人工は、再任用の短時間勤務職員を配置

(4) 通学区域及び通学距離



※ 翔陽中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学が認められています。

(5) 学校と町内会の関係

(令和7年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
翔陽中	帯広小	大三会(一部)、大四交睦(一部)、五盟(一部)、西三条平和親睦、河南、奉公、センターパーク、新興、睦、西互助12、曙、西互助、西五条親交、十土、緑園、黎明、灯下、新生(一部)、親交(一部)、親盛、緑親、大6親睦(一部)、大7親友(一部)、大八盟友(一部)、大通9丁目親睦(一部)、大通南十丁目親睦(一部)、大通11丁目(一部)、大通12丁目(一部)、大通13丁目共和会(一部)、三和親睦、西1・4共親会、互親、六友会、七友会、西一・八親善、西1条南10丁目、西1条12丁目親睦会、三・四同交会、西2の5、福六、七福、友信、西2条南10丁目共和、駅前、共栄、西3条南9丁目、西3条南10丁目、西4条6開発官舎、センターシティ1、親栄、開広、西11条橋南	東北連合町内会(一部) 中央西地区連合町内会(一部)
	柏小	東3・4親睦(一部)、柏光、東祥親睦、東苑、東明、若草、東オベリベリ親睦、東友東親、東十和、東、農試跡南町、東陽北、東陽、報徳、東九・七親睦、新泉、祥南第1、祥南第2、祥和、桂、晩成、東郊協和、柏親交、柏、道営中央団地1、中央2、十三四、東和5・6親睦、東5・7親睦、東和、東六・九、瑞穂、東光、東和、東亜親睦、東和親睦、東栄和、東4・6親共、東四・七、東4・8、東三・七交和、東三・八、東鳩、東方親睦、東盟、東明、東四条東睦、東3南14親交会、東3条共和、六交、東二・七、八交、東富久、十交会、東栄、柏、十三交睦、東2条14・15親友、東1・六親会、和光、東1・8誠心会、親和、東和会、清和、東1の13・14、大6親睦(一部)、大7親友(一部)、大八盟友(一部)、大通9丁目親睦(一部)、大通南十丁目親睦(一部)、大通11丁目(一部)、大通12丁目(一部)、大通13丁目共和会(一部)	東北連合町内会(一部) 東部地区連合町内会 中央東連合町内会
	光南小	西1・15南親、南六、更生、公明、明交(一部)、新帯広平和、幸進、供和(一部)、東方、光南東、光南第一、クラックス、東進、光南みなみ、東雲、南東団地、東南、コーポ光南第一親睦会、光南、東興、東光、和光(一部)、南栄、鈴蘭、新交、新光、東1・15親和、南興、光友親睦、文化街、更新、平成、睦、親友、大19親和	鉄南地区連合町内会(一部) 鉄南地区東連合町内会(一部)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
翔陽中	東 小	バラト東、いたどり、新バラト、バラト中央、バラト西南、オリエンタルコーポ親睦会、春日東、春日西、春日南、帯里、帯広発祥、東、清泉親睦、発祥親睦会、依田町、東睦、神護親睦、神護東、神護、東4・5東栄、東3・4親睦（一部）、東2の2・3、世互親、東2・5、東1条若葉、東1・4睦、東5親交会、大三会（一部）、大四交睦（一部）、五盟（一部）、北星、大川町親和、リバーサイド、東1条北郵政、神苑昭睦	東北連合町内会（一部） 北栄連合町内会（一部）

2 鉄南地区

中学校	第四中	中学校区内の小学校	明星小、光南小（一部）、花園小（一部）
-----	-----	-----------	---------------------

(1) 学校（学校区）の特徴

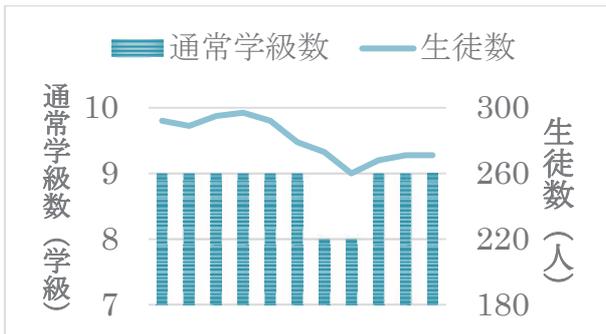
第四中	通学区域を変更し、第三中の一部編入や稲田中と統合して昭和26年に分離新設しました。生徒数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の9学級から令和13年度以降は8～9学級で推移する見込みです。
明星小	昭和10年に明星尋常小学校として開校し、昭和22年に現在の明星小学校に改称しました。また、平成24年度には豊成小の通学区域の一部を変更し、その区域を編入しました。児童数は減少し、通常学級数は現在の12学級で推移する見込みです。
光南小 (再掲)	昭和29年に明星小から分離新設しました。児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の12学級で推移する見込みです。進学先が翔陽中、第四中に分散しています。
花園小	公園東町区域の団地造成に伴い、明星小・緑丘小・稲田小から昭和57年に分離新設しました。児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の6学級から令和11年度以降は6～7学級で推移する見込みです。進学先が第四中、第五中に分散しています。
その他	小学校区を大通や鉄南火防線などで分けているため、単位町内会が分断されています。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（コホート変化率法）【令和7年5月1日現在】（単位：人・学級）

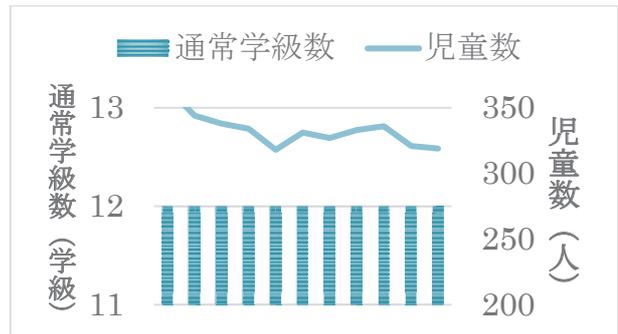
学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
第四中	生徒数	292	289	295	297	292	279	273	260	268	271	271
	うち通常学級生徒数	261	264	271	274	269	257	252	242	249	251	251
	うち特別支援生徒数	31	25	24	23	23	22	21	18	19	20	20
	学級数	13	12	12	12	12	11	10	10	11	11	11
	うち通常学級数	9	9	9	9	9	9	8	8	9	9	9
	うち特別支援学級数	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
明星小	児童数	365	344	338	334	318	331	327	333	336	321	319
	うち通常学級児童数	316	298	294	293	276	287	282	286	289	276	274
	うち特別支援児童数	49	46	44	41	42	44	45	47	47	45	45
	学級数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
光南小 (再掲)	児童数	333	318	330	319	322	326	327	330	317	311	293
	うち通常学級児童数	291	278	292	282	283	284	284	287	275	273	257
	うち特別支援児童数	42	40	38	37	39	42	43	43	42	38	36
	学級数	18	18	18	18	18	19	19	19	19	18	18
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	7	7	7	7	6	6
花園小	児童数	173	172	171	177	185	188	182	175	168	162	147
	うち通常学級児童数	139	138	137	145	151	156	150	143	135	129	116
	うち特別支援児童数	34	34	34	32	34	32	32	32	33	33	31
	学級数	12	12	12	12	13	13	13	12	12	12	12
	うち通常学級数	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

【参考】

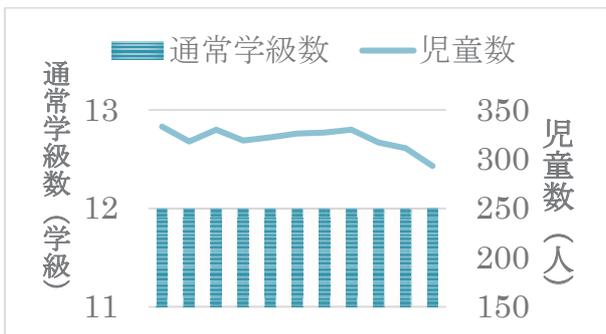
第四中 生徒数及び通常学級数の推計



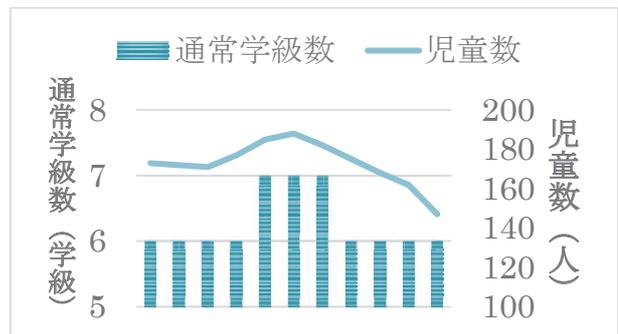
明星小 児童数及び通常学級数の推計



光南小(再掲) 児童数及び通常学級数の推計



花園小 児童数及び通常学級数の推計



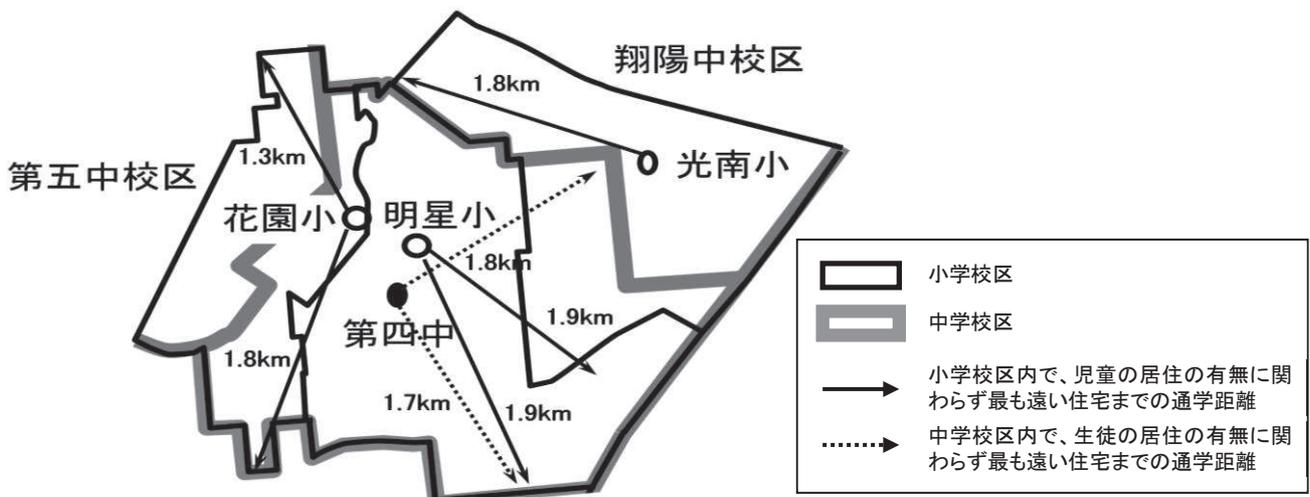
(3) 教職員の配置状況 (令和7年度)

(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	養護教諭	事務職員	合計
第四中	16.0	3.0	6.0	1.0	1.0	27.0
明星小	15.0	3.0	9.0	1.0	1.0	29.0
光南小(再掲)	15.0	2.0	8.0	1.0	1.0	27.0
花園小	9.0	5.0	8.0	1.0	1.0	24.0

※ 教職員配置基準には、校長・教頭含む

(4) 通学区域及び通学距離



(5) 学校と町内会の関係

(令和7年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第四中	明星小	明交(一部)、永和(一部)、五交(一部)、協和親睦、新和、南園親睦、明和、行幸、明協、互親、明光(一部)、明星親睦、南栄、一条親交、二八、さつき、南豪、三十丁目、親栄、供和(一部)、育生、十九丁目睦、親和、西5・19東、十九和、明和親睦、常盤、大谷、明星、明星共和、啓明、むつみ、第一啓明、新明、三友、明親、四中、六栄歩、六栄第三、六栄東、六栄向陽、六栄第一、新成、南ヶ丘、丘の上、太陽、弥生、若草(一部)、花園(一部)、新生、帯広南橋、豊成北、豊栄、緑(一部)	鉄南地区連合町内会(一部) 緑栄連合町内会(一部) 豊成連合町内会(一部) 中央西地区連合町内会(一部)
	光南小	明光(一部)、永和(一部)、五交(一部)、東三四、南友、田園、平原、南平原、和光(一部)、清南、松葉、公栄、20丁目、鉄心、第一鉄心、南鉄心、双栄、南交、南生、南親、帯南、二十八区親交	鉄南地区連合町内会(一部) 鉄南地区東連合町内会(一部)
	花園小	公園、公園三〇、公園東町ハイツ1号、公園東町ハイツ2号、公園東町ハイツ3号、公園朝日、公園東町、緑園、若草(一部)、花園(一部)、緑新、七緑、スズラン、緑(一部)、緑山、緑生、新緑生	緑栄連合町内会(一部) 中央西地区連合町内会(一部)

3 川北地区

中学校	第一中	中学校区内の小学校	北栄小、栄小（一部）、啓北小
-----	-----	-----------	----------------

(1) 学校（校区）の特徴

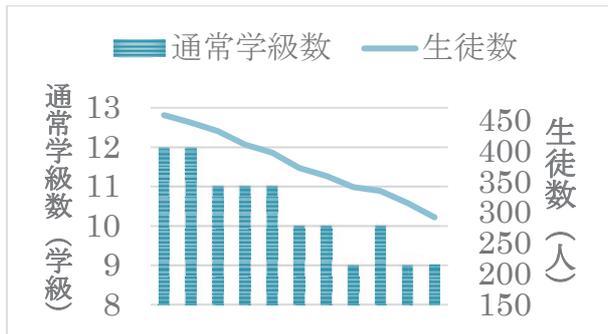
第一中	昭和22年の学制改革により、啓北高等小から現在の帯広第一中学校に改称しました。 生徒数は減少し、通常学級数は現在の12学級から令和9年度以降は9～11学級で推移する見込みです。
北栄小	昭和28年に帯広小から分離新設しました。 児童数は減少し、通常学級数は現在の12学級から令和8年度以降は8～11学級で推移する見込みです。
栄小	昭和46年に北栄小から分離新設しました。 児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の12学級から令和11年度以降は11～12学級で推移する見込みです。 進学先が第一中、西陵中に分散しています。
啓北小	北栄小・栄小の児童急増に伴い、通学区域を一部変更して、昭和58年に分離新設しました。 児童数は減少し、通常学級数は現在の12学級から令和10年度以降は8～11学級で推移する見込みです。
その他	小学校区や町内会区域が複雑に分かれているため、単位町内会が分断されています。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（コーホート変化率法）【令和7年5月1日現在】（単位：人・学級）

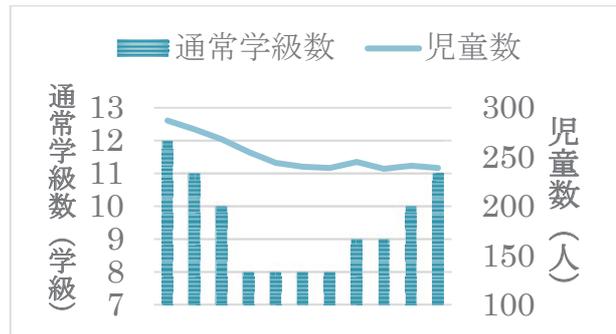
学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
第一中	生徒数	458	446	432	410	397	372	359	341	335	315	292	
	うち通常学級生徒数	423	411	399	378	368	346	334	317	312	294	272	
	うち特別支援生徒数	35	35	33	32	29	26	25	24	23	21	20	
	学級数	18	19	17	17	17	16	16	15	16	14	14	
	うち通常学級数	12	12	11	11	11	10	10	9	10	9	9	
	うち特別支援学級数	6	7	6	6	6	6	6	6	6	5	5	
北栄小	児童数	287	278	268	255	244	240	239	245	238	241	239	
	うち通常学級児童数	245	238	231	218	209	209	208	215	210	213	211	
	うち特別支援児童数	42	40	37	37	35	31	31	30	28	28	28	
	学級数	19	16	15	13	13	13	13	13	13	13	14	15
	うち通常学級数	12	11	10	8	8	8	8	9	9	10	11	
	うち特別支援学級数	7	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	
栄小	児童数	324	323	317	324	312	325	320	312	307	293	290	
	うち通常学級児童数	288	281	274	280	276	287	282	276	272	260	256	
	うち特別支援児童数	36	42	43	44	36	38	38	36	35	33	34	
	学級数	17	17	18	18	16	18	18	17	16	17	17	
	うち通常学級数	12	12	12	12	11	12	12	12	11	12	12	
	うち特別支援学級数	5	5	6	6	5	6	6	5	5	5	5	
啓北小	児童数	336	330	311	300	273	244	236	231	221	217	215	
	うち通常学級児童数	299	296	276	264	244	218	211	207	198	195	192	
	うち特別支援児童数	37	34	35	36	29	26	25	24	23	22	23	
	学級数	18	18	18	17	16	14	14	14	13	12	12	
	うち通常学級数	12	12	12	11	11	10	10	10	9	8	8	
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	5	4	4	4	4	4	4	

【参考】

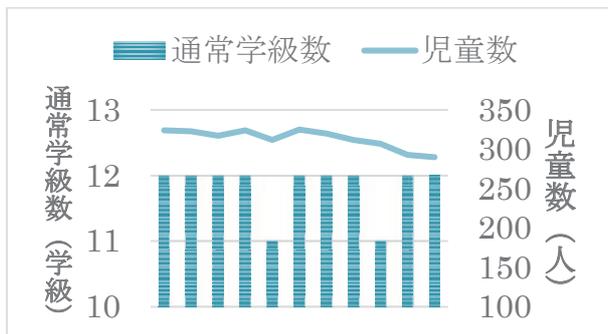
第一中 生徒数及び通常学級数の推計



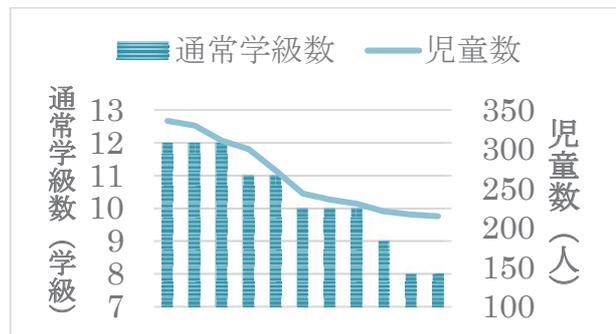
北栄小 児童数及び通常学級数の推計



栄小 児童数及び通常学級数の推計



啓北小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (令和7年度)

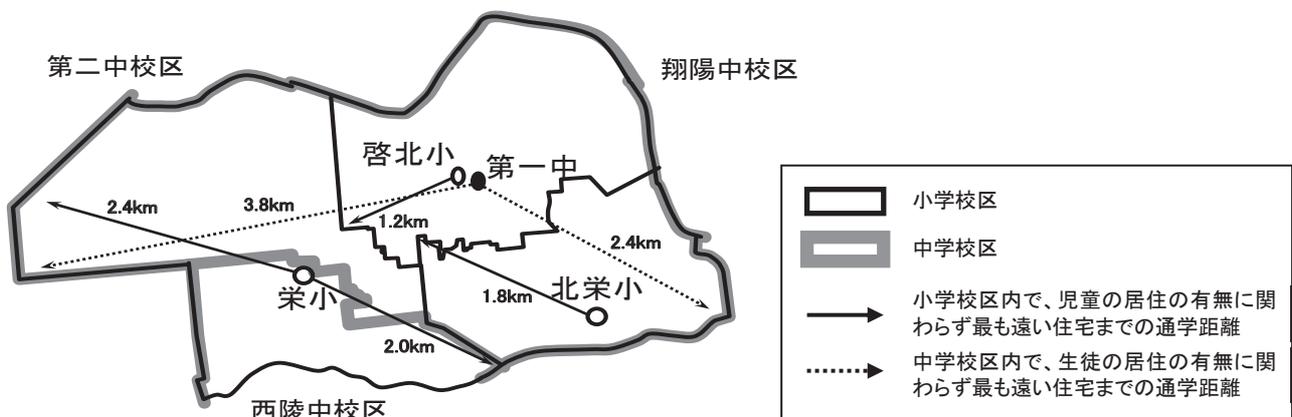
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	養護教諭	事務職員	合計
第一中	21.0	4.0	7.0	1.0	1.0	34.0
北栄小	15.0	2.0	8.0	1.0	1.0	27.0
栄小	15.0	4.5	7.0	1.0	1.0	28.5
啓北小	15.0	3.5	8.0	1.0	1.0	28.5

※ 教職員配置基準には、校長・教頭含む

※ 0.5人工は、再任用の短時間勤務職員を配置

(4) 通学区域及び通学距離



※ 第一中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学が認められています。

(5) 学校と町内会の関係

(令和7年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第一中	北栄小	三和、新十勝大橋、音石、西二条南一丁目、西2条2・3親交、睦親睦、明神、北栄、北光親睦、三吉親交、北親、みどり、川北、光北、捷和、三吉、北栄隣組、新栄、交和、寛裕、北鳳、第一交和、親成、北興（一部）、泰北、北交、共和、若草、北泉、西10条北親、拓栄、拓光東、北進、北明、いずみ野（一部）、北協和（一部）、西13条北、西14条親睦、西央、北一線（一部）、北友、玄友親睦、北郊、緑栄、玄進、北星、大心東（一部）	北栄連合町内会（一部） 啓北連合町内会（一部） 栄地区連合町内会（一部）
	栄小	報和（一部）、北一親睦（一部）、大心東（一部）、報友、広栄、西16条新和（一部）、大心中央、大心西、新栄、あづさ、緑陽、光栄、栄、栄北、北報和、栄町、西18条新和、柏友（一部）、正進親睦	栄地区連合町内会（一部） 西帯広連合町内会（一部）
	啓北小	北興（一部）、長和、新北西、北愛、玄北東、一中啓北、玄北中央、玄北西、緑勝、青葉、北一線（一部）、いずみ野（一部）、北協和（一部）、北伸第一、北伸、桜、西16条北2開発、北一親睦（一部）、大心東（一部）、報和（一部）、6号栄	啓北連合町内会（一部） 栄地区連合町内会（一部）

4 西地区

中学校	第五中	中学校区内の小学校	帯広小（一部）、緑丘小、啓西小（一部）、花園小（一部）
中学校	第八中	中学校区内の小学校	若葉小、広陽小（一部）、明和小
中学校	西陵中	中学校区内の小学校	啓西小（一部）、栄小（一部）、広陽小（一部）

（１）学校（学校区）の特徴

第五中	昭和 34 年に第四中から分離新設しました。 生徒数は減少し、通常学級数は現在の 9 学級から令和 12 年度以降は 6～8 学級で推移する見込みです。
帯広小 （再掲）	明治 29 年に帯広尋常小学校として開校し、昭和 22 年に現在の帯広小学校に改称しました。 児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の 7 学級から令和 11 年度以降は 6 学級で推移する見込みです。 進学先が翔陽中と第五中に分散しています。
緑丘小	昭和 26 年に明星小から分離新設しました。 児童数は減少し、通常学級数は現在の 14 学級から令和 9 年度以降は 12 学級で推移する見込みです。
啓西小	柏林台団地の造成に伴い、昭和 41 年に帯広小・緑丘小から分離新設しました。 児童数は減少し、通常学級数は現在の 11 学級から令和 9 年度以降は 8～11 学級で推移する見込みです。 進学先が西陵中と第五中に分散しています。
花園小 （再掲）	公園東町区域の団地造成に伴い、明星小・緑丘小・稲田小から昭和 57 年に分離新設しました。 児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の 6 学級で推移する見込みです。 進学先が第四中、第五中に分散しています。
第八中	自由が丘などの新興住宅地の人口急増に伴い、昭和 49 年に第五中から分離新設しました。 生徒数は減少し、通常学級数は現在の 12 学級から令和 9 年度以降は 9～11 学級で推移する見込みです。
若葉小	緑丘小・稲田小の大規模化を解消するため、昭和 47 年に分離新設しました。 児童数は減少し、通常学級数は現在の 14 学級から令和 9 年度以降は 12～13 学級で推移する見込みです。
広陽小	啓西小・若葉小の児童急増に伴い、通学区域を一部変更して、昭和 54 年に分離新設しました。 児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の 12 学級で推移する見込みです。 進学先が西陵中と第八中に分散しています。
明和小	西地区の宅地開発に伴い、広陽小・若葉小の通学区域を一部変更して、平成 2 年に分離新設しました。 児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の 9 学級から令和 8 年度以降は 6～9 学級で推移する見込みです。
西陵中	第一中・第五中の大規模化を解消するため、通学区域を一部変更して、昭和 53 年に分離新設しました。 生徒数は減少し、通常学級数は現在の 10 学級から令和 9 年度以降は 9 学級で推移する見込みです。
栄小 （再掲）	昭和 46 年に北栄小から分離新設しました。 児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の 12 学級から令和 11 年度以降は 11～12 学級で推移する見込みです。 進学先が第一中、西陵中に分散しています。
その他	小学校区、中学校区や町内会区域が複雑に分かれているため、単位町内会が分断されています。

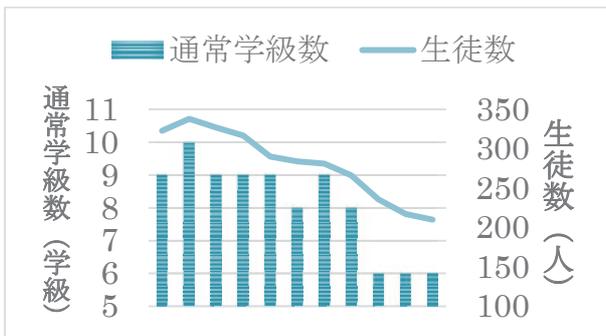
(2) 児童生徒数・学級数の推計（コホート変化率法）【令和7年5月1日現在】（単位：人・学級）

学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
第五中	生徒数	323	338	327	317	290	284	281	266	236	217	210
	うち通常学級生徒数	285	296	284	275	252	246	244	230	203	185	179
	うち特別支援生徒数	38	42	43	42	38	38	37	36	33	32	31
	学級数	16	17	16	15	15	14	15	14	12	11	11
	うち通常学級数	9	10	9	9	9	8	9	8	6	6	6
	うち特別支援学級数	7	7	7	6	6	6	6	6	6	5	5
帯広小 (再掲)	児童数	166	156	156	164	155	155	167	167	167	172	170
	うち通常学級児童数	142	132	131	141	133	133	143	144	143	148	146
	うち特別支援児童数	24	24	25	23	22	22	24	23	24	24	24
	学級数	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
緑丘小	児童数	461	435	409	389	372	367	361	358	365	361	354
	うち通常学級児童数	385	369	345	327	316	313	307	305	310	308	304
	うち特別支援児童数	76	66	64	62	56	54	54	53	55	53	50
	学級数	24	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	うち通常学級数	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	10	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
啓西小	児童数	347	310	278	269	266	261	256	266	275	276	273
	うち通常学級児童数	290	255	225	219	215	213	208	216	224	225	220
	うち特別支援児童数	57	55	53	50	51	48	48	50	51	51	53
	学級数	19	18	16	14	14	14	13	14	16	15	17
	うち通常学級数	11	11	10	9	9	9	8	9	10	10	11
	うち特別支援学級数	8	7	6	5	5	5	5	5	6	5	6
花園小 (再掲)	児童数	173	172	171	177	185	188	182	175	168	162	147
	うち通常学級児童数	139	138	137	145	151	156	150	143	135	129	116
	うち特別支援児童数	34	34	34	32	34	32	32	32	33	33	31
	学級数	12	12	12	12	13	13	13	12	12	12	12
	うち通常学級数	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
第八中	生徒数	445	429	399	375	391	399	386	360	329	326	311
	うち通常学級生徒数	396	380	348	327	341	349	336	313	286	284	270
	うち特別支援生徒数	49	49	51	48	50	50	50	47	43	42	41
	学級数	20	20	19	19	19	19	19	18	16	16	16
	うち通常学級数	12	12	11	11	11	11	11	10	9	9	9
	うち特別支援学級数	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7
若葉小	児童数	483	470	446	423	403	379	384	393	388	393	389
	うち通常学級児童数	416	408	387	366	353	329	334	343	338	342	338
	うち特別支援児童数	67	62	59	57	50	50	50	50	50	51	51
	学級数	25	25	23	23	22	21	21	21	21	22	22
	うち通常学級数	14	14	13	13	13	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	11	11	10	10	9	9	9	9	9	10	10

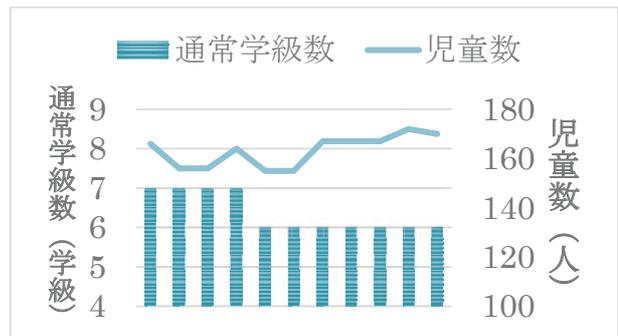
学校名	区 分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
広 陽 小	児童数	344	365	381	382	366	357	362	344	333	334	331	
	うち通常学級児童数	280	303	319	320	308	304	307	292	281	282	279	
	うち特別支援児童数	64	62	62	62	58	53	55	52	52	52	52	
	学級数	22	22	22	23	22	21	21	21	21	21	21	21
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	10	10	10	11	10	9	9	9	9	9	9	9
明 和 小	児童数	242	236	235	242	232	232	233	236	239	236	234	
	うち通常学級児童数	208	211	209	218	204	207	209	212	215	211	209	
	うち特別支援児童数	34	25	26	24	28	25	24	24	24	24	25	
	学級数	14	12	12	14	12	12	13	14	14	14	12	11
	うち通常学級数	9	7	7	8	7	7	8	9	9	9	7	6
	うち特別支援学級数	5	5	5	6	5	5	5	5	5	5	5	5
西 陵 中	生徒数	379	365	346	337	330	320	315	311	301	299	280	
	うち通常学級生徒数	330	322	305	296	290	280	275	271	262	261	243	
	うち特別支援生徒数	49	43	41	41	40	40	40	40	39	38	37	
	学級数	17	17	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15
	うち通常学級数	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	うち特別支援学級数	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
栄 小 (再 掲)	児童数	324	323	317	324	312	325	320	312	307	293	290	
	うち通常学級児童数	288	281	274	280	276	287	282	276	272	260	256	
	うち特別支援児童数	36	42	43	44	36	38	38	36	35	33	34	
	学級数	17	17	18	18	16	18	18	17	16	17	17	
	うち通常学級数	12	12	12	12	11	12	12	12	11	12	12	
	うち特別支援学級数	5	5	6	6	5	6	6	5	5	5	5	

【参考】

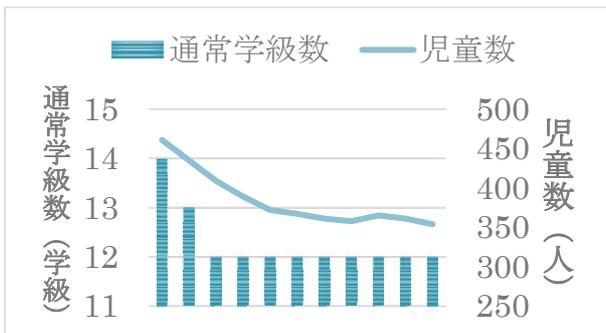
第五中 生徒数及び通常学級数の推計



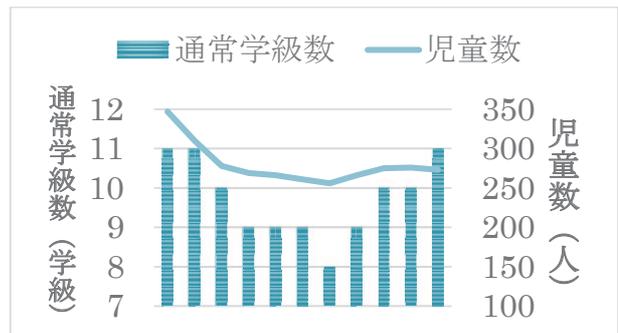
帯広小（再掲） 児童数及び通常学級数の推計



緑丘小 児童数及び通常学級数の推計



啓西小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (令和7年度)

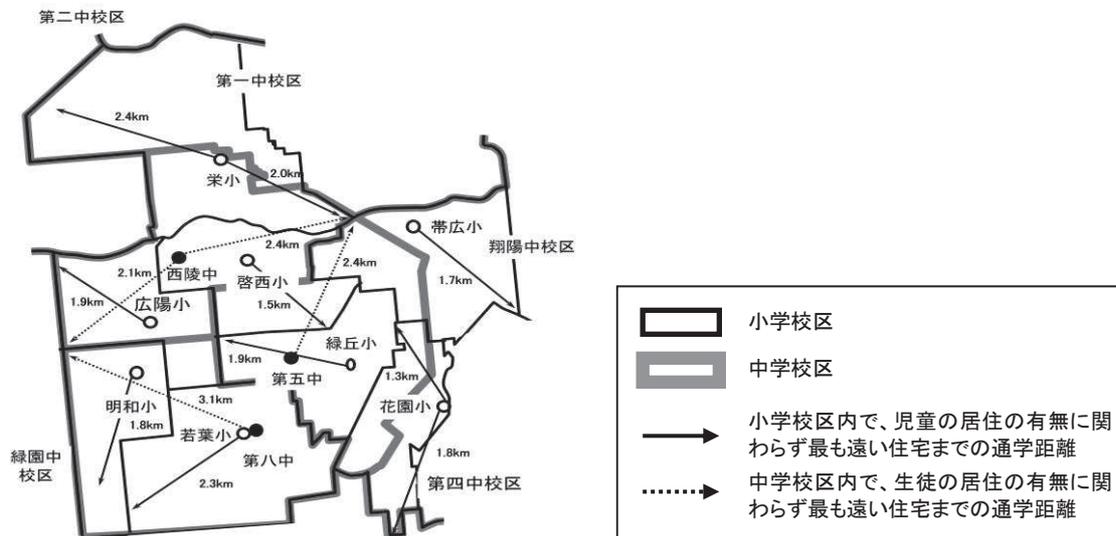
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	養護教諭	事務職員	合計
第五中	16.0	4.0	8.0	1.0	1.0	30.0
帯広小(再掲)	10.0	4.0	5.0	1.0	1.0	21.0
緑丘小	18.0	3.0	11.0	1.0	1.0	34.0
啓西小	14.0	3.5	10.0	1.0	1.0	29.5
花園小(再掲)	9.0	5.0	8.0	1.0	1.0	24.0
第八中	21.0	2.5	9.0	1.0	1.0	34.5
若葉小	18.0	3.0	13.0	1.0	1.0	36.0
広陽小	15.0	2.0	11.0	1.0	1.0	30.0
明和小	12.0	4.0	6.0	1.0	1.0	24.0
西陵中	18.0	2.0	8.0	1.0	1.0	30.0
栄小(再掲)	15.0	4.5	7.0	1.0	1.0	28.5

※ 教職員配置基準には、校長・教頭含む

※ 0.5人工は、再任用の短時間勤務職員を配置

(4) 通学区域及び通学距離



※ 第五中、第八中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学が認められています。

(5) 学校と町内会の関係

(令和7年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第五中	帯広小	新町東、新町中央、高倉西、西栄(一部)、西伸(一部)、西南部親交(一部)、中央、第一親緑	競馬場連合町内会(一部) 中央西地区連合町内会(一部)
	緑丘小	西栄(一部)、西伸(一部)、若緑、新緑、みどり、12、緑栄、緑栄第一、十五日、緑勝、緑光、南緑、ひまわり、十五、広和、緑友、緑葉、同栄、緑ヶ丘第三、緑親、双葉、むつき、緑ヶ丘さくら、みどり親交、緑むつみ、草園、新栄(一部)、新興、富貴、第一富貴、愛睦、緑西道堂、和交、栄和、五中北、三八東、峰洋、南商第一、新緑むつみ、緑西、緑林、睦、泉、丘の町(一部)、共親、桜町(一部)、北斗、親和東、寿、親和南、親緑、躍進、緑苑、芳園、春駒、春駒西、緑泉、あかしや、あかしや中央(一部)、和泉、共親、北斗、親和南、親和東、八条コーポ	競馬場連合町内会(一部) 緑ヶ丘地区連合町内会 春駒連合町内会(一部) むつみ連合町内会 中央西地区連合町内会(一部) 若葉連合町内会(一部)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第五中	啓西小	競馬場、北駒、新栄（一部）、協和、和興、新柏林台、新柏林台北、新柏林台中央、新柏林台南、あやめ	競馬場連合町内会（一部） 春駒連合町内会（一部） 新柏林台連合町内会
	花園小	親交（一部）、丘の町（一部）、月進、桜町（一部）、第三広和、広和第一、広和第二	中央西地区連合町内会（一部）
第八中	若葉小	商東、美佐和、あかしや中央（一部）、ときわ、緑交、緑南、わかかな、南商西、共和第一、共和南、若葉、共和第二親睦、十八緑、緑明、自由が丘弥生、自由が丘二丁目、自由が丘第一、自由が丘北都、自由が丘高台、自衛隊西宿舎、大門街（一部）、つくし野	若葉連合町内会（一部） 緑商連合町内会 自由が丘地区連合町内会（一部） 南町連合町内会（一部）
	広陽小	柏南緑、晴見台東、晴見台西、野栄	広陵連合町内会（一部）
	明和小	十九条東、東常盤、西十九緑、西常盤、20条希望、青空、協和20条、協和南、西20条桜の森、おびひろの森西、西一九、明和、やまびこ、川東あさがお、川東くろゆり、20条4	西部地区連合町内会 自由が丘地区連合町内会（一部） 広陵連合町内会（一部）
西陵中	啓西小	善友、くるみ、柏林台すずらん、柏林台啓北、東柏林台、パークサイド、柏林台東町、柏林台学園前、柏林台ひまわり、柏林台北町第3自治会、柏林台北町第二、柏林台北町第一、柏林台北西、JRアパート自治会、柏林台郵政、柏林台中町2丁目、柏林台四一、柏林台中央団地自治会、柏林台親和、柏西、柏林台啓西、柏林台、柏林台中央、柏新、柏新第一、柏林台南、柏林台四つ葉、柏林台第一、やなぎ、東こまどり、西しらかば、啓西第一、こまどり、柏林台西町、柏林台ニュータウン	柏林台連合町内会 広陵連合町内会（一部）
	栄小	西16条新和（一部）、白鳩、第一報和、中帯広東、17条新和、中帯広北、中帯広西、柏友（一部）、北星、大和一、大和二、大和三、大和五、大和六、大和七、報和南、柳華、中帯広南	栄地区連合町内会（一部） やまと連合町内会
	広陽小	弥生、三友東、三友中央、山望北、山望南、山望、37東、三七、三友西、三七北、静和、広西、啓新、西陵第1、啓和、静光	広陵連合町内会（一部）

5 西帯広地区

中学校	第二中	中学校区内の小学校	西小、つつじが丘小
中学校	緑園中	中学校区内の小学校	開西小、森の里小

(1) 学校(学校区)の特徴

第二中	昭和22年に開校しました。 生徒数は減少し、通常学級数は現在の6学級から令和16年度以降は5学級で推移する見込みです。
西小	明治31年に帯広小学校伏古分校として開校し、伏古尋常小などの改称を経て、昭和22年に現在の西小学校に改称しました。 児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の6学級で推移する見込みです。
つつじが丘小	宅地造成に伴い、開西小の通学区域を一部変更して平成11年に分離新設しました。 児童数は減少し、通常学級数は現在の6学級で推移する見込みです。
緑園中	西帯広地区の人口急増に伴う第二中の過密解消のため、通学区域を一部変更して平成4年に分離新設しました。 生徒数は減少し、通常学級数は現在の9学級から令和9年度以降は6学級で推移する見込みです。
開西小	西帯広ニュータウンの住宅団地造成に伴い、西小から昭和60年に分離新設しました。 児童数は減少し、通常学級数は現在の9学級から令和10年度以降は6～8学級で推移する見込みです。
森の里小	西帯広ニュータウンの住宅団地造成に伴い、開西小の通学区域を一部変更して平成3年に分離新設しました。 児童数概ね現状で推移し、通常学級数は現在の8学級から令和9年度以降は6学級で推移する見込みです。
その他	概ね単位町内会と学校区が一致しています。

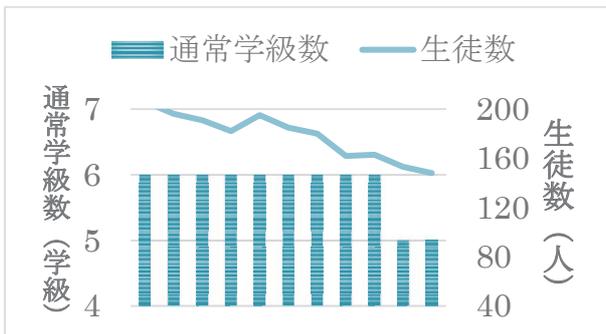
(2) 児童生徒数・学級数の推計(コホート変化率法)【令和7年5月1日現在】 (単位:人・学級)

学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
第二中	生徒数	206	196	191	182	195	185	180	162	163	153	148
	うち通常学級生徒数	180	174	168	160	172	163	159	143	144	135	130
	うち特別支援生徒数	26	22	23	22	23	22	21	19	19	18	18
	学級数	10	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5
	うち特別支援学級数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
西小	児童数	154	157	155	154	146	160	154	148	136	134	121
	うち通常学級児童数	124	132	129	128	125	138	133	128	117	115	102
	うち特別支援児童数	30	25	26	26	21	22	21	20	19	19	19
	学級数	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3
つつじが丘小	児童数	218	206	201	187	169	159	160	154	155	157	155
	うち通常学級児童数	175	165	160	153	140	132	133	127	128	130	128
	うち特別支援児童数	43	41	41	34	29	27	27	27	27	27	27
	学級数	13	13	12	11	10	10	10	9	9	9	9
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	7	7	6	5	4	4	4	3	3	3	3

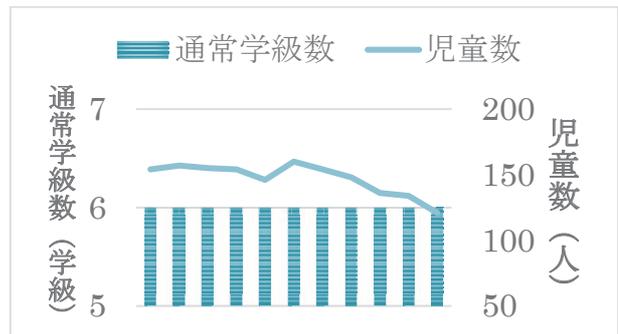
学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
緑園中	生徒数	274	261	232	228	219	220	209	203	190	182	167
	うち通常学級生徒数	244	231	210	207	200	200	189	184	171	164	150
	うち特別支援生徒数	30	30	22	21	19	20	20	19	19	18	17
	学級数	15	13	11	11	10	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	9	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	6	6	5	5	4	4	4	4	4	4	4
開西小	児童数	218	214	215	205	191	175	175	166	156	146	134
	うち通常学級児童数	199	194	195	184	171	157	157	149	140	131	120
	うち特別支援児童数	19	20	20	21	20	18	18	17	16	15	14
	学級数	12	12	12	11	10	9	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	9	9	9	8	7	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
森の里小	児童数	221	212	196	191	184	174	175	179	184	189	187
	うち通常学級児童数	184	175	164	161	156	151	152	155	159	163	160
	うち特別支援児童数	37	37	32	30	28	23	23	24	25	26	27
	学級数	15	14	11	11	10	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	7	7	5	5	4	4	4	4	4	4	4

【参考】

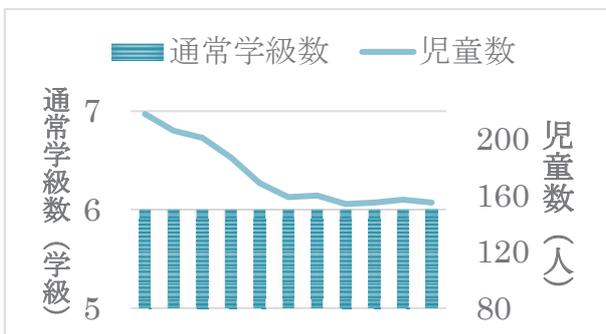
第二中 生徒数及び通常学級数の推計



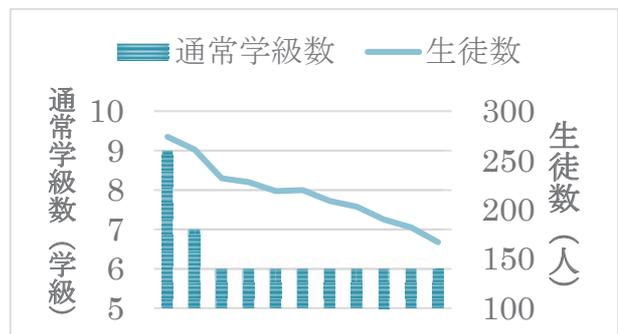
西小 児童数及び通常学級数の推計



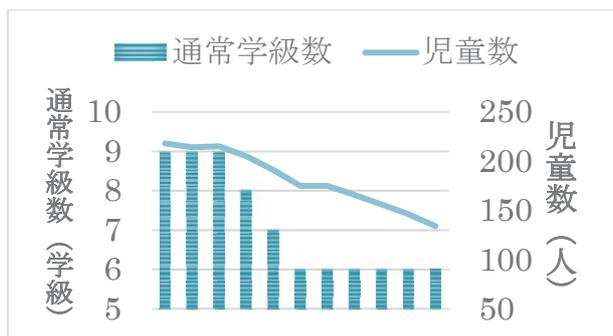
つつじが丘小 児童数及び通常学級数の推計



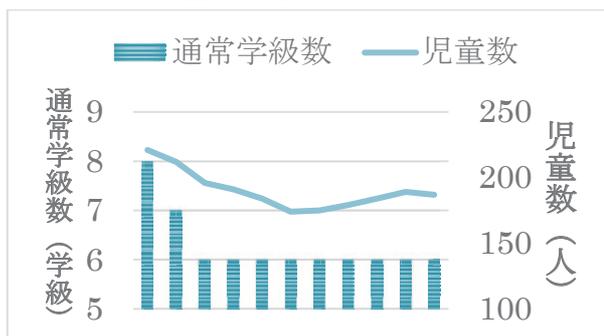
緑園中 生徒数及び通常学級数の推計



開西小 児童数及び通常学級数の推計



森の里小 児童数及び通常学級数の推計



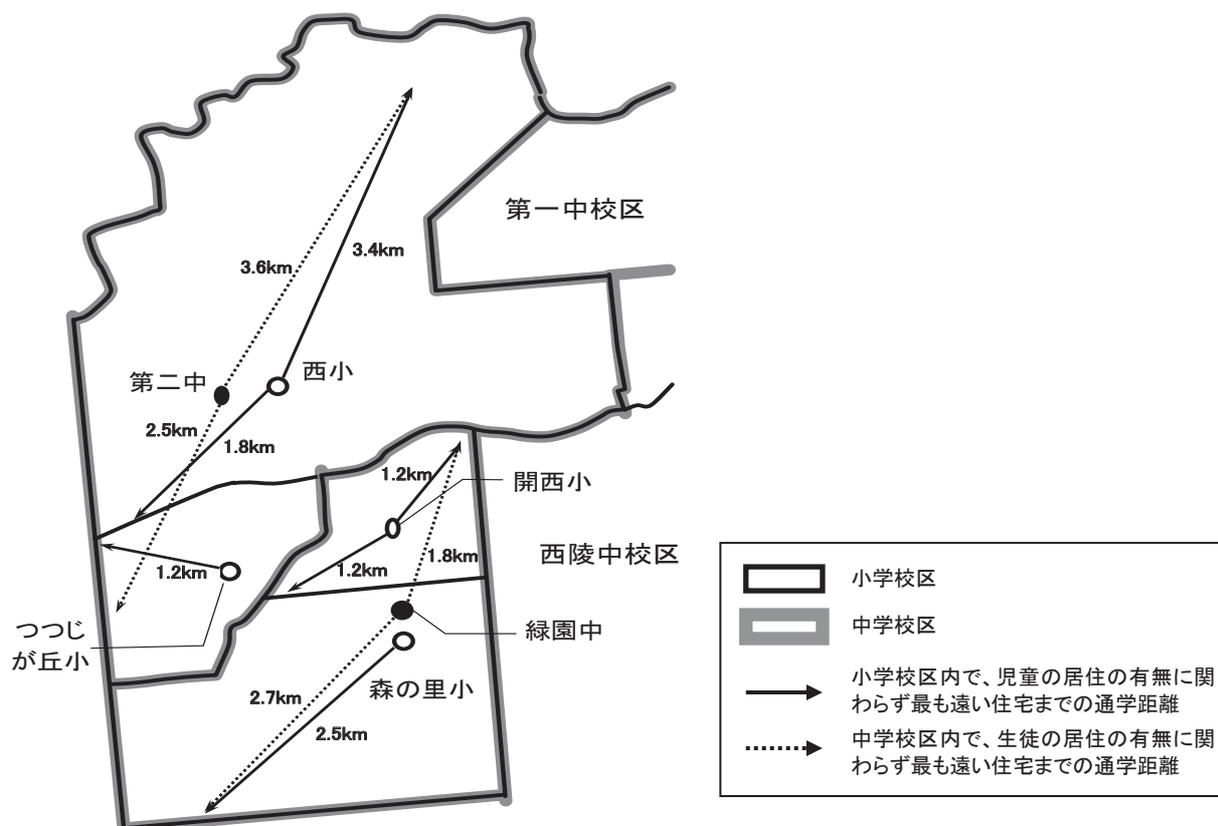
(3) 教職員の配置状況 (令和7年度)

(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	養護教諭	事務職員	合計
第二中	11.0	1.0	6.0	1.0	1.0	20.0
西小	9.0	2.0	6.0	1.0	1.0	19.0
つつじが丘小	9.0	2.0	9.0	1.0	1.0	22.0
緑園中	15.0	5.0	7.0	1.0	1.0	29.0
開西小	12.0	2.0	5.0	1.0	1.0	21.0
森の里小	11.0	4.0	9.0	1.0	1.0	26.0

※ 教職員配置基準には、校長・教頭含む

(4) 通学区域及び通学距離



(5) 学校と町内会の関係

(令和7年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第二中	西 小	西11号つくし、西帯広親睦、西帯広中央、津田の森、西帯広南町、道営ひまわり、西14号団地、十五号、西13号、あけぼの、西の森、ヒルデス25、西交友、32区共正	西帯広連合町内会（一部）
	つつじが丘 小	三条高校西、みすみ、柳橋、共愛、タウン24、つつじ24、リバーサイド24、ふれあい、新西、フリースピア25、つつじ、ウエスト25、36区（一部）	西帯広連合町内会（一部）
緑園中	開西 小	工栄、西21新興、西21条若菜、開西ひがし、開西35区、開西、開明、緑園西、かえて、おふね、新緑第2団地自治会、のぞみ	西帯広ニュータウン連合町内会（一部）
	森の里小	36区（一部）、ニュータウン自治会、とりで、アルバータ通り、新緑、新緑南、森の里東、開西中央、森の里、西中島通り、星の森、ポテト、ふしこ	西帯広連合町内会（一部） 西帯広ニュータウン連合町内会（一部）

6 南地区

中学校	大空学園義務教育学校（後期課程）	中学校区内の小学校	大空学園義務教育学校（前期課程）
中学校	南町中学校	中学校区内の小学校	稲田小、豊成小、【川西小（一部）】

（１）学校（学校区）の特徴

大空学園義務教育学校（後期課程）	南帯広住宅団地（大空）開発事業に伴い、第四中から昭和49年に分離新設し、平成6年に南町中の通学区域の一部を変更し、その区域を編入しました（旧：大空中学校）。生徒数は概ね現状で推移し、通常学級は現在の6学級から令和15年度以降は4～5学級で推移する見込みです。
大空学園義務教育学校（前期課程）	南帯広住宅団地（大空）開発事業に伴い、稲田小から昭和45年に分離新設し、平成6年度に稲田小の通学区域の一部を変更し、その区域を編入しました（旧：大空小学校）。児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の12学級から令和9年度以降は11学級で推移する見込みです。
大空学園義務教育学校は、前期計画で小規模化が見込まれた旧大空中を対象校に選定し、近隣の大空小と統合して義務教育学校が令和4年に開校しました。	
南町中	第四中の大規模化解消のため、昭和50年に分離新設しました。生徒数は減少し、通常学級数は現在の17学級から令和10年度以降は14～16学級で推移する見込みです。 清流地区の一部は、区域外通学許可申請をすることで通学することができます。
稲田小	昭和3年に稲田尋常小として開校し、昭和22年に川西村立稲田小などの改称、昭和32年の市町村合併により、現在の帯広市立稲田小学校に改称しています。児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の17学級から令和8年度以降は13～17学級で推移する見込みです。
豊成小	昭和44年に稲田小から分離新設し、平成24年に明星小の通学区域の一部を変更し、その区域を編入しました。児童数は減少し、通常学級数は現在の19学級から令和8年度以降は13～18学級で推移する見込みです。 清流地区の一部は、区域外通学許可申請をすることで通学することができます。
その他	小学校区を帯広の森通、機関庫の川、稲田町基線などで分けているため、単位町内会が分断されています。

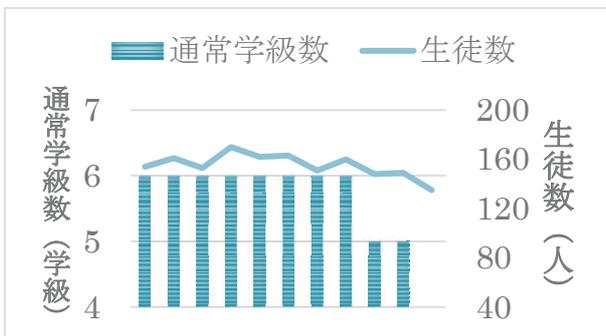
（２）児童生徒数・学級数の推計（コーホート変化率法）【令和7年5月1日現在】（単位：人・学級）

学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
大空学園（後期）	生徒数	154	161	153	170	162	163	151	160	148	149	135
	うち通常学級生徒数	133	141	138	153	146	147	136	144	133	134	121
	うち特別支援生徒数	21	20	15	17	16	16	15	16	15	15	14
	学級数	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	7
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
大空学園（前期）	児童数	328	328	319	306	300	299	307	309	330	333	330
	うち通常学級児童数	262	265	260	249	252	252	259	261	279	281	276
	うち特別支援児童数	66	63	59	57	48	47	48	48	51	52	54
	学級数	21	21	19	19	18	18	18	18	19	19	19
	うち通常学級数	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	うち特別支援学級数	9	9	8	8	7	7	7	7	8	8	8

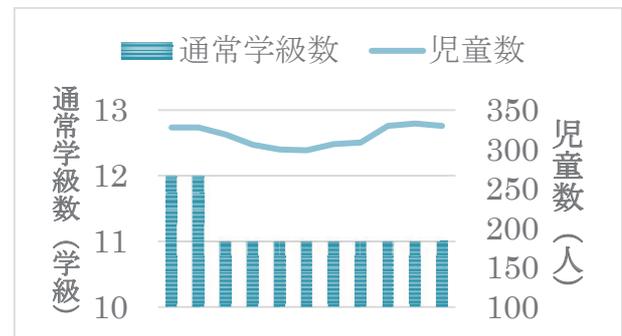
学校名	区 分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
南町中	生徒数	651	618	607	603	595	587	546	549	546	523	501
	うち通常学級生徒数	606	571	553	550	543	535	500	501	498	479	458
	うち特別支援生徒数	45	47	54	53	52	52	46	48	48	44	43
	学級数	25	24	26	24	24	24	22	23	23	22	20
	うち通常学級数	17	16	17	16	16	16	15	15	15	15	14
	うち特別支援学級数	8	8	9	8	8	8	7	8	8	7	6
稲田小	児童数	516	501	492	476	447	446	463	474	487	496	491
	うち通常学級児童数	452	443	430	414	387	383	399	408	418	424	417
	うち特別支援児童数	64	58	62	62	60	63	64	66	69	72	74
	学級数	26	24	24	23	22	22	23	23	24	25	26
	うち通常学級数	17	16	15	14	13	13	14	14	15	16	17
	うち特別支援学級数	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9
豊成小	児童数	575	560	511	509	492	475	432	420	413	418	418
	うち通常学級児童数	523	508	460	462	441	420	380	370	367	370	370
	うち特別支援児童数	52	52	51	47	51	55	52	50	46	48	48
	学級数	27	26	24	23	23	23	21	20	20	20	20
	うち通常学級数	19	18	16	15	15	15	14	13	13	13	13
	うち特別支援学級数	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7

【参考】

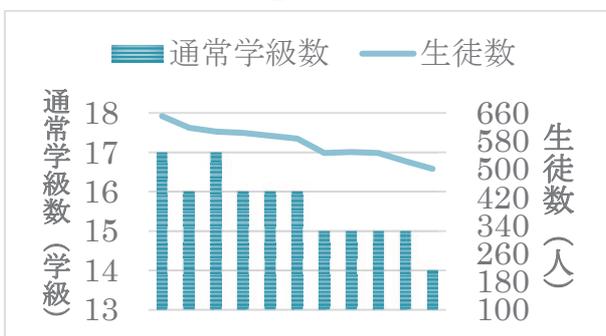
大空学園（後期） 生徒数及び通常学級数の推計



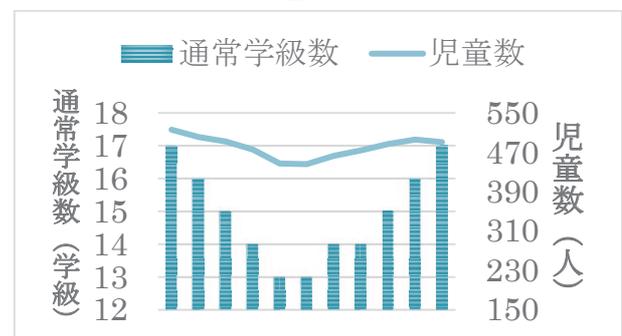
大空学園（前期） 児童数及び通常学級数の推計



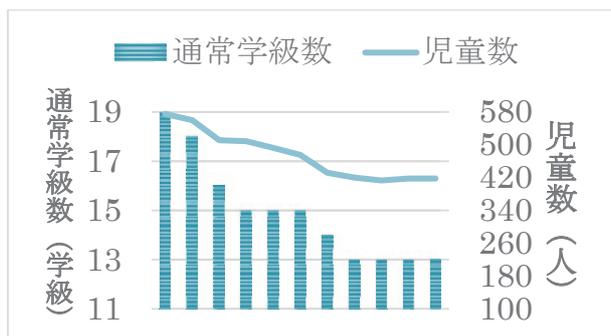
南町中 生徒数及び通常学級数の推計



稲田小 児童数及び通常学級数の推計



豊成小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (令和7年度)

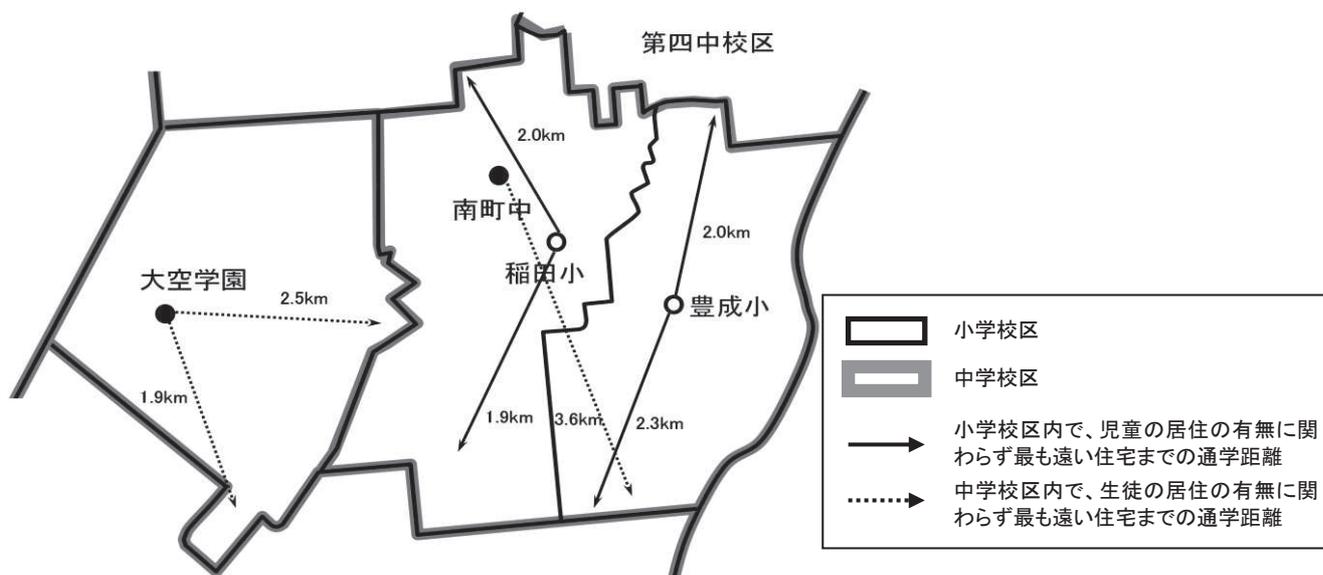
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	養護教諭	事務職員	合計
大空学園 (後期)	11.0	7.0	4.0	1.0	1.0	24.0
大空学園 (前期)	15.0	2.0	11.0	1.0	1.0	30.0
南町中	26.0	5.5	9.0	1.0	2.0	43.5
稲田小	21.0	4.0	11.0	1.0	1.0	38.0
豊成小	23.0	1.0	10.0	1.0	2.0	37.0

※ 教職員配置基準には、校長・教頭含む

※ 0.5人工は、再任用の短時間勤務職員を配置

(4) 通学区域及び通学距離



※ 大空学園 (後期課程)・南町中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学が認められています。

(5) 学校と町内会の関係

(令和7年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
大空学園義務教育学校 (後期)	大空学園義務教育学校 (前期)	大空町第1、大空町第2、大空第三、大空町第4、大空町第5、大空町第6、大空町第7、大空町第8、大空町第9、大空町第10、大空町第12、大空町第13、大空第14、大空町第15、大空町第16、大空町第17、大空町第18、大空町第19、大空町第22、大空町第23、大空町第24、大空町第25、大空町第26、大空町第27、大空町第28、大空町第29、大空町第32、大空町第34、大空町第35、大空町第36、大空町第37、大空町第38、大空町第39自治会、大空町第40、大空町第41、大空町第43、大空町第44、ほのぼの(一部)、みなみ野緑親、緑陽高校南、南の森西七、空港第一、帯広の森、南の森暁、拓進(一部)、東別府、帯広刑務所宿舍	大空町連合自治会 南の森連合町内会(一部)
南 町 中	稲 田 小	日甜(一部)、緑風、緑山、せせらぎ、松南、豊丘、南町南ヶ丘、公南、自衛隊東宿舍、別府団地、南町中央、東共栄、稲田団地自治会、稲田団地1号棟自治会、大門街(一部)、新栄、栄団地、南栄、善隣、松竹、豊陽、南町南、りんどう、春光、西春光、みなみ野、新弥生、南花園、稲田、ひじり西(一部)、農校前東、進興、みなみ野学園通り、新駒翠、美朝、帯広農業高校、みなみ野北、みなみ野中央、ほのぼの(一部)、拓進(一部)、新南町、南町タウン	豊成連合町内会(一部) 緑栄連合町内会(一部) 南町連合町内会(一部) 稲田地区連合町内会(一部) 南の森連合町内会(一部)
	豊 成 小	下稲田東、下稲田、南新和、工場前、日甜(一部)、新稲田、いずみ、稲田中央、清流の里北、上稲田、ひじり東、ひじり西(一部)、稲豊、清流の里東、清流の里西、清流の里中央、清流まなび野、ぼっぼ橋、機関庫の川公園南、清流ハヤブサ、下川西	豊成連合町内会(一部) 稲田地区連合町内会(一部)

(6) 区域外通学が認められている住所

住所	本来の校区	区域外通学が認められる校区
清流東1～3丁目、清流西1～3丁目	豊成小、南町中	川西小、川西中
清流東4丁目、清流西4丁目	川西小、川西中	豊成小、南町中

7 農村地域

中学校	川西中	中学校区内の小学校	川西小、【豊成小（一部）】
中学校	清川中	中学校区内の小学校	清川小
中学校	八千代中	中学校区内の小学校	広野小
中学校	第七中	中学校区内の小学校	大正小、愛國小

(1) 学校（学校区）の特徴

川西中	昭和 22 年に川西村立川西小に併置して川西中として開校しました。昭和 24 年に別府中と統合、昭和 32 年に帯広市立川西中と改称し、昭和 54 年に上帯広中と統合し、現在に至っています。生徒数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の 3 学級で推移する見込みです。清流地区の一部は、区域外通学許可を申請することで、通学することができます。
川西小	昭和 54 年に旧川西小・別府小・富士小・上帯広小を統合して開校しました。児童数は減少し、通常学級数は現在の 6 学級で推移する見込みです。清流地区の一部は、区域外通学許可を申請することで、通学することができます。
清川中	昭和 22 年に川西村立清川小に併置して清川中として開校しました。昭和 26 年に太平中の一部と統合、昭和 32 年に市町村合併により現在の帯広市立清川中学校に改称され、昭和 55 年には岩内中と統合しています。生徒数は減少し、通常学級数は現在の 3 学級から令和 13 年度以降は 2～3 学級で推移する見込みです。
清川小	昭和 41 年に太平小・美栄小・上清川小・旧清川小の統合に伴い、開校され、昭和 55 年には岩内小と統合しています。また、平成 17 年 10 月に小規模特認校に指定されています（令和 7 年度現在通学者 0 名）。児童数は減少し、通常学級数は現在の 3 学級で推移する見込みです。
八千代中	昭和 27 年に旧広野中・旧八千代中を統合して川西村立広野中として開校しました。昭和 28 年に川西村立八千代中と改称し、昭和 32 年の市町村合併により現在の帯広市立八千代中学校と改称しています。生徒数の一時的な増加もあるが、概ね現状で推移する見込みです。市内で唯一の複式学級がある中学校で、通常学級数は令和 12 年度の 3 学級を除き、現在の 2 学級で推移する見込みです。
広野小	昭和 50 年に旧広野小・八千代小・拓成小を統合して開校しました。児童数は減少し、通常学級数は現在の 3 学級で推移する見込みです。 ※ 昭和 59 年から複式学級
第七中	昭和 40 年に大正中・愛國中・似平中・上似平中・戸鶯中が統合して開校しました。生徒数は減少し、通常学級数は現在の 3 学級で推移する見込みです。
大正小	昭和 47 年に旧大正小・旧似平小を統合して開校し、昭和 49 年には泉小が統合し、現在に至っています。児童数は減少し、通常学級数は現在の 6 学級で推移する見込みです。
愛國小	明治 37 年に私立幸震家庭教授所として創立し、大正村立愛國小などの改称を経て、昭和 32 年に現在の帯広市立愛國小小学校に改称しています。また、平成 20 年 10 月に小規模特認校に指定されています（令和 7 年度現在 7 名通学）。児童数は概ね現状で推移し、通常学級数は現在の 3 学級で推移する見込みです。 ※ 昭和 43 年から複式学級（昭和 44 年は単式学級）
共通事項 その他	通学距離が長い場合、スクールバスや路線バスを活用し通学の負担の軽減を図っています。太平町内会や戸鶯町内会を除き単位町内会と学校区が一致しています。

(2) 児童生徒数・学級数の推計(コホート変化率法)【令和7年5月1日現在】 (単位:人・学級)

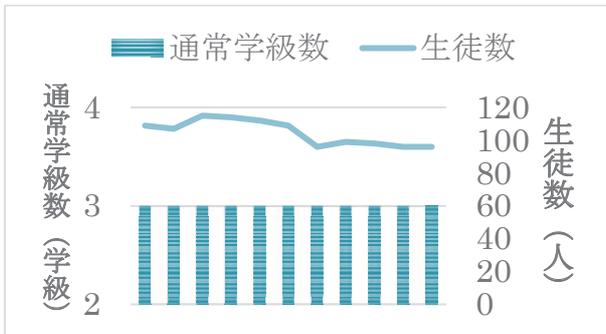
学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
川西中	生徒数	109	107	115	114	112	109	96	99	98	96	96
	うち通常学級生徒数	95	91	99	98	97	94	82	84	84	82	82
	うち特別支援生徒数	14	16	16	16	15	15	14	15	14	14	14
	学級数	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
川西小	児童数	211	216	218	208	193	174	172	170	174	173	167
	うち通常学級児童数	178	180	185	175	160	146	144	142	147	147	142
	うち特別支援児童数	33	36	33	33	33	28	28	28	27	26	25
	学級数	12	12	12	12	11	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	5	4	4	4	4	4	4
清川中	生徒数	30	23	23	20	23	18	16	13	15	17	17
	うち通常学級生徒数	27	20	21	18	21	16	15	12	14	16	16
	うち特別支援生徒数	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1
	学級数	5	5	5	5	5	5	3	3	4	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
清川小	児童数	38	37	34	35	31	31	32	32	31	28	27
	うち通常学級児童数	31	32	30	30	27	27	27	27	26	24	23
	うち特別支援児童数	7	5	4	5	4	4	5	5	5	4	4
	学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
八千代中	生徒数	11	10	11	11	15	17	14	11	11	13	10
	うち通常学級生徒数	10	10	11	11	13	15	12	10	10	12	9
	うち特別支援生徒数	1	0	0	0	2	2	2	1	1	1	1
	学級数	3	2	2	2	4	5	4	3	3	3	3
	うち通常学級数	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2
	うち特別支援学級数	1	0	0	0	2	2	2	1	1	1	1
広野小	児童数	25	25	27	26	20	16	18	16	13	13	13
	うち通常学級児童数	20	20	21	20	17	14	16	15	12	12	12
	うち特別支援児童数	5	5	6	6	3	2	2	1	1	1	1
	学級数	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
第七中	生徒数	73	77	73	68	66	60	60	55	49	47	41
	うち通常学級生徒数	62	64	61	57	55	49	49	46	43	41	36
	うち特別支援生徒数	11	13	12	11	11	11	11	9	6	6	5
	学級数	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1

学校名	区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
大正小	児童数	115	111	102	97	82	81	77	74	68	65	65	
	うち通常学級児童数	101	96	93	90	77	74	71	69	64	61	61	
	うち特別支援児童数	14	15	9	7	5	7	6	5	4	4	4	
	学級数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
愛国小	児童数	22	19	16	18	20	21	21	21	21	18	17	
	うち通常学級児童数	20	18	16	17	19	20	20	20	20	17	16	
	うち特別支援児童数	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	
	学級数	5	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	うち特別支援学級数	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	

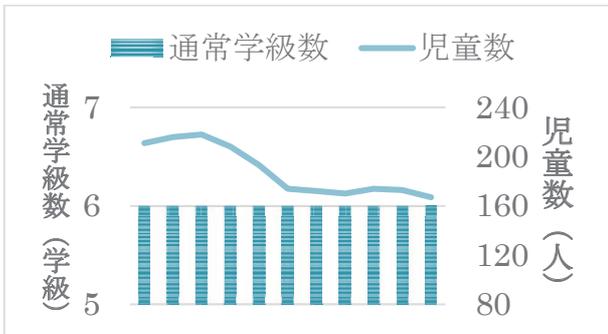
※ 川西中・川西小以外は、単純進行により推計

【参考】

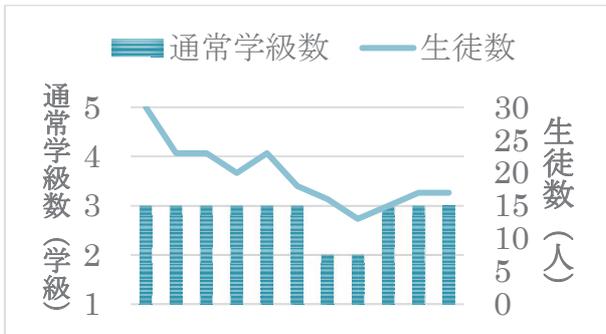
川西中 生徒数及び通常学級数の推計



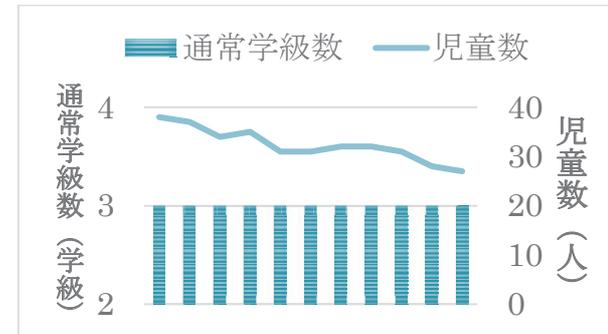
川西小 児童数及び通常学級数の推計



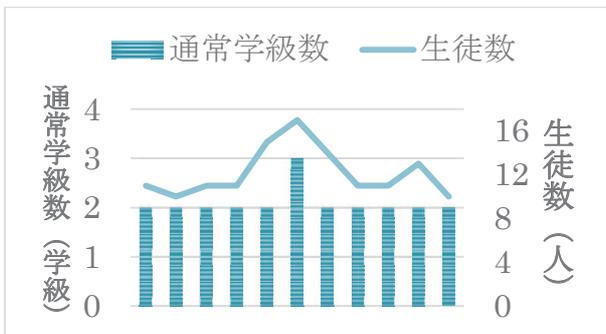
清川中 生徒数及び通常学級数の推計



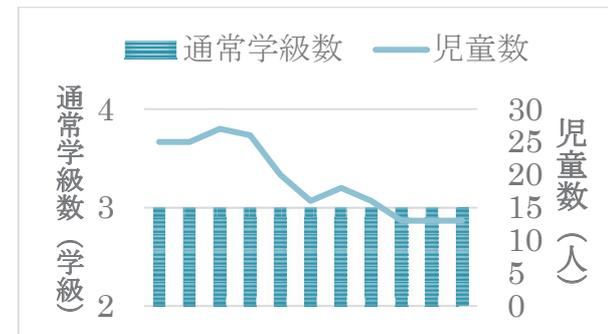
清川小 児童数及び通常学級数の推計



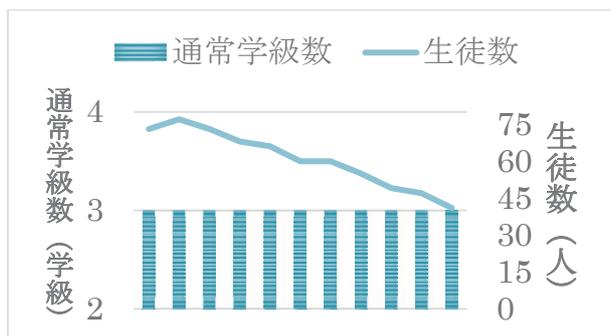
八千代中 生徒数及び通常学級数の推計



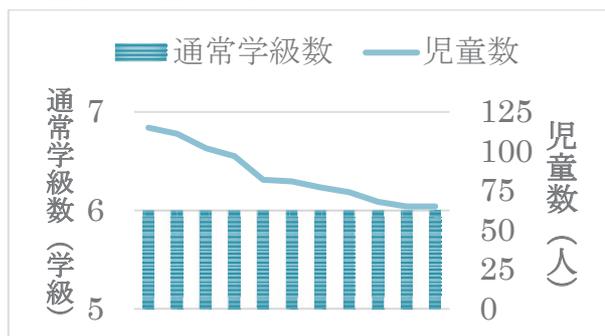
広野小 児童数及び通常学級数の推計



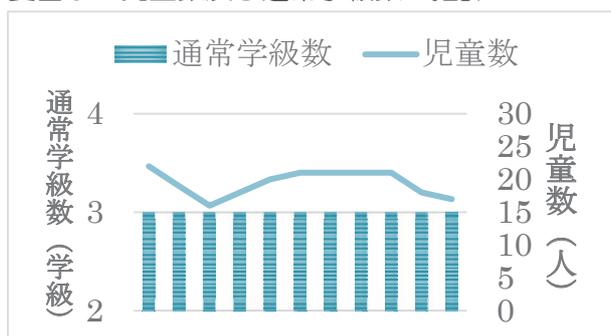
第七中 生徒数及び通常学級数の推計



大正小 児童数及び通常学級数の推計



愛国小 児童数及び通常学級数の推計



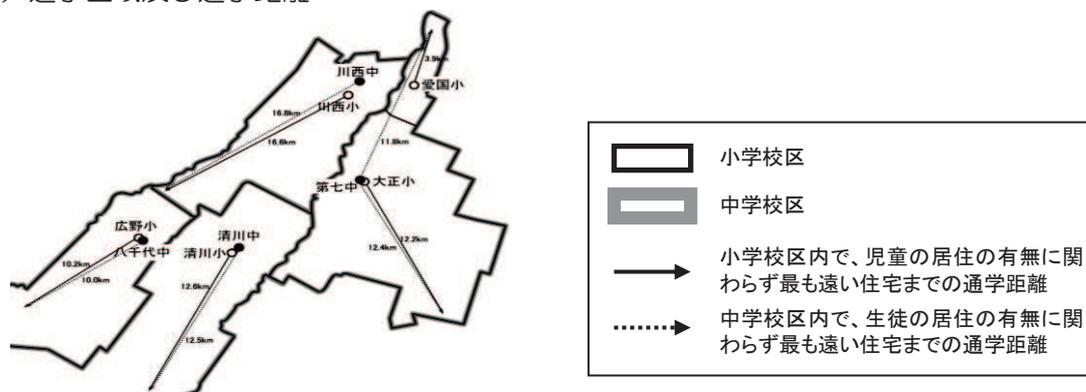
(3) 教職員の配置状況 (令和7年度)

(単位:人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	養護教諭	事務職員	合計
川西中	9.0	0	4.0	1.0	1.0	15.0
川西小	9.0	1.0	8.0	1.0	1.0	20.0
清川中	9.0	0	3.0	1.0	1.0	14.0
清川小	5.0	0	2.0	1.0	1.0	9.0
八千代中	6.0	1.0	1.0	1.0	0	9.0
広野小	5.0	0	2.0	1.0	1.0	9.0
第七中	9.0	0	4.0	1.0	1.0	15.0
大正小	9.0	0	5.0	1.0	1.0	16.0
愛国小	5.0	0	2.0	1.0	1.0	9.0

※ 教職員配置基準には、校長・教頭含む

(4) 通学区域及び通学距離



※ スクールバスの運行や路線バスの利用により通学の負担を軽減しています。

※ 川西中、清川中、八千代中、第七中、大正小、愛国小は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学が認められています。

(5) 学校と町内会の関係

(令和7年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
川西中	川西小	川西、北川西、下川西、南川西、中川西、新川西、新生、東豊西、西豊西、本豊西、南豊西、別府、中別府、中富士、西富士、東富士、南富士、南基松、北基松、上帯広市街、北上帯広、東上帯広、南上帯広	川西連合町内会 豊西連合町内会 別府連合町内会 富士連合町内会 基松連合町内会 上帯広地域連合町内会
清川中	清川小	東清川、清川、中清川、上清川、日甜清川農場、東美栄、西美栄、太平(一部)、戸蔭(一部)	清川地区連合町内会(一部)
八千代中	広野小	北広野、南広野、広野市街、北八千代、中八千代、八千代、拓成、太平(一部)、戸蔭(一部)	八広地域連合町内会 清川地区連合町内会(一部)
第七中	大正小	桜木町東、桜木町西、桜木町南、桜木町北、昭和町東、昭和町越前、東和、大正町加賀、大正町幸一、昭和町親幸、大正本町第一、大正本町第二、大正本町第三、大正本町第四、幸福、種苗管理センター十勝農場、以平東、以平第二、以平第三、睦、中島町戸蔭、中島町中戸蔭、上以平、大和	桜木連合町内会 昭和町連合町内会 大正市街地連合町内会 大正連合町内会 幸福連合町内会 以平連合町内会 中島連合町内会 泉連合町内会
	愛国小	愛国、愛国南、北愛国	愛国町連合町内会

(6) 区域外通学が認められている住所

住所	本来の校区	区域外通学が認められる校区
清流東4丁目、清流西4丁目	川西小、川西中	豊成小、南町中
清流東1～3丁目、清流西1～3丁目	豊成小、南町中	川西小、川西中

意見交換会等の開催状況と主な意見

(1) -1 計画案に関する意見交換会等の開催状況（令和7年度）

開催日等	対象校	参加者数
令和7年 10月 8日（水）	西小学校（保護者・地域）	15名
10月 9日（木）	森の里小学校（保護者・地域）	7名
10月 14日（火）	花園小学校（保護者・地域）	12名
10月 20日（月）	東小学校（保護者・地域）	17名
10月 21日（火）	つつじが丘小学校（保護者・地域）	7名
10月 23日（木）	清川小学校（保護者・地域）	9名
10月 27日（月）	愛国小学校（保護者・地域）	9名
10月 29日（水）	広野小学校・八千代中学校（保護者・地域）	21名
	計	97名

(1) -2 計画案に関する意見交換会等で出された主な意見（令和7年度）

1 学校の様子について

- ・子どもはとても楽しんで学校に通っています。学習面でも先生方により環境を与えていただいております。
- ・先生方にとっても良い環境であれば、子どもたちも安心して学校生活を送れます。

2 学校規模について

- ・クラス替えができないことによる弊害はありますが、先生方の負担軽減とのバランスを取る必要があります。なるべく多くの先生に子どもたちを見ていただいた方が安心な面はあります。
- ・全学年1学級という状況であり、適正な学校規模の基準に満たないので、機械的に統合した方が良いです。
- ・少人数の同じメンバーで継続して教育を受けることで安心できる場所があります。
- ・小中一貫では学年の人数が増えないので、小学校、中学校でそれぞれ統合するのが良いです。
- ・クラブ活動などを通して子どもたちのコミュニティは広がっています。子どもたちの気持ちを最優先に進めてほしいです。
- ・子どもたちが成長していくうえで、様々な人と接し、多くの友達を作ってほしいです。

3 適正規模確保等の取り組みについて

- ・市内の児童生徒数が均等になるよう通学区域を弾力的に見直していく必要があります。
- ・児童生徒数の増減は、宅地開発などの社会的な要因に影響を受けるため、そうしたことも考慮のうえ、検討を進めてほしいです。
- ・5～10年後には児童が半数ぐらいになるため、対象校として選定してもらうことで、地域の中で話し合いをしていくことができます。

- 小規模特認校制度の周知方法について、より多くの方の目に触れられるように工夫してほしいです。
- 今後、児童数が増えないことが分かっている中で、何も手を打たないのは問題を先送りすることになります。
- 他校との交流がしやすい環境をより一層整えて、強化していただきたいです。

4 学校と地域の関わりについて

- 地域としては、学校が存続することに大きな意義があると考えており、子どもたちがいることで活性化し、力強い地域になっていくことを望んでいます。
- 地域の歴史的な経緯も踏まえて検討してほしいです。
- 世代によって統合などに対する考え方は違います。

5 その他

- 意見交換会への参加者が少ないので、開催時期や時間帯、周知の工夫に工夫が必要です。
- 国の研究校の指定を受けていた優位性を踏まえて検討していくことが望ましいです。
- 学校施設が古いので、建て替えや改修をしてほしいです。
- 子どもたちの意見も聞いてほしいです。
- 今後、学校が無くなった場合、避難所や投票所がどうなるのか心配です。

(2) -1 計画骨子案に関する意見交換会等の開催状況（令和6年度）

開催日等	対象校	参加者数
令和6年10月23日（水）	西小学校（保護者）	4名
10月24日（木）	花園小学校（保護者）	6名
10月29日（火）	森の里小学校（保護者）	1名
10月31日（木）	つつじが丘小学校（保護者）	9名
11月6日（水）	森の里小学校（地域）	6名
11月7日（木）	西小学校（地域）	8名
11月8日（金）	東小学校（保護者）	6名
11月11日（月）	東小学校（地域）	34名
11月12日（火）	花園小学校（地域）	8名
11月21日（木）	つつじが丘小学校（地域）	8名
11月26日（火）	清川小学校（保護者）	10名
11月27日（水）	愛国小学校（保護者）	8名
11月28日（木）	清川小学校（地域）	5名
11月29日（金）	愛国小学校（地域）	16名
12月16日（月）	広野小学校・八千代中学校（保護者）	12名
12月19日（木）	広野小学校・八千代中学校（地域）	13名
	計	154名

(2) -2 計画骨子案に関する意見交換会等で出された主な意見（令和6年度）

1 学校の様子について

- ・大空学園における小中連携の交流が活発で、他校では得難い経験が可能であると聞き、義務教育学校という制度に興味があります。
- ・これまでは学年ごとに担任が配置されていましたが、現在は二学年で一名の体制となっていて、教育的配慮の観点から、複式であっても教員は二名体制が望ましいです。
- ・学習面や児童生徒の心のケアへの支援を担う教員数が不足しています。
- ・複式学級で上級生と同じ環境で学ぶことで、モチベーションが喚起され、学習態度も主体的に取り組んでいます。
- ・複式の特性を踏まえ、指導方法等の多様な工夫が見られ、授業の質が向上しています。
- ・少年団活動で他校と交流することで、人数規模の大きい集団の中で交友関係を広げやすいという利点を実感します。

2 学校規模について

- ・小学校では単学級でも当面の教育上の支障は見られず、複数学級の経験は中学校で十分です。
- ・統合により2～3学級を確保できることは、学習環境の観点から望ましいものの、通学距離の制約から、現実的な実施は困難です。

- ・小規模校は児童一人ひとりに対するきめ細かな指導や手厚い支援が可能です。
- ・農山村部等の「一学級」が通例であった教育文化を尊重し、地域の特性を活かしつつ、子どもの健やかな成長を重視すべきです。
- ・児童数の減少により、運動会や学習発表会で活動範囲の制約が生じています。地域住民との協働開催も検討してほしいです。
- ・複式を経験しても交友関係の固定化という弊害は感じたことがなく、中学校や高校で大規模の人数交流で特に問題はないです。
- ・複数学級が望ましいという観点は理解しつつも、中学校で複数学級になるため、小学校については現行体制の存続を希望します。
- ・小規模校では手厚い教育が受けられる反面、大人数で行うスポーツができないといったデメリットもあります。施設分離型の小中一貫校にすることで、そうしたデメリットを解消でき、地域コミュニティの役割を確保していけるのであれば、それも一つの手です。
- ・複式学級においても一定の学力水準は維持されていて、学習に関する問題はないです。

3 適正規模確保等の取り組みについて

- ・小規模のままでも統合が難しい地区はリモート等で学校が離れても交流ができる時間を作っていけばいいです。
- ・拠点となる場所に集まって、そこから統合後の学校にバスで移動すれば、通学距離の問題も解消します。
- ・地域全体を見渡した統合の基本構想（グラウンドデザイン）を提示してほしいです。
- ・複数小学校から一つの中学校に進学する場合、特定校のみを小中一貫化する選択も有効です。
- ・今後も単学級で推移するが児童数の急減は見込まれないため、現行の体制を維持してほしいです。
- ・学校は残しつつ、学区の見直しで児童数の均衡化を図るべきです。
- ・町内会に在学児童がほぼいない現状では、統合せざるを得ないです。
- ・少人数校を卒業した経験はありますが、子どもには多様な仲間の中で育ててほしいため、統合を推進してほしいです。
- ・学区は児童数が最多だった時期の区割りが残存していて、現況に即した再編が必要です。
- ・他校との交流の場をもっと増やせば子どもたちにとってもいい刺激になります。
- ・複数校を統合しても適正規模に達しないケースがあり、統合効果の検証は難しいです。
- ・帯広独自のスタイルで、短期間でも他の学校を経験するような取り組みがあればいいです。
- ・分離型の小中一貫校であれば、既存施設を活用しつつ運営でき、PTA の一元化も可能となります。
- ・学校の存在は地域の移住・定住の動機となるため、存続を検討してほしいです。
- ・友人関係の拡大を重視し、統合で一定の児童数を確保してほしいです。

- 管理職ポストを適正化し、授業に直結する教員数を増やしてほしいです。
- 同級生が少ない不安を踏まえ、近隣校との統合で大規模環境を確保した中で友人を作してほしいです。
- 小規模校の交流も、一週間程度集中して実施することも考えてほしいです。
- 他の地域との交流をもっと頻繁に行うことが必要です。
- 最低限の人間関係が構築できるシステムは確保できるようにしてほしいです。

4 学校と地域の関わりについて

- 学校がなくなるとその地域の活性化が落ちていくので、学校の存廃が地域に与える影響は大きいです。
- 学校を見守りしていただいているボランティアの担い手が少なくなっています。

5 その他

- もし統合した場合、通学区域が広がるので自転車通学を認めてほしいです。
- 統合して通学区域が広がった場合はスクールバスを出さなくてははいけません。
- 小学校の通学距離の基準が 2 キロは長いので、今の時代不審者等で危険と感じます。
- 校舎の規模が今の児童数に合っていないので、できれば小規模の校舎に建て替えてほしいです。
- 通学区域が広がると、登下校が大変になるので、通学区域は広げてほしくないです。
- 30 人以上で 1 学級だと、教室が狭いと感じるので、1 学級あたりの人数をもっと少なくしてほしいです。
- 学校だけでなく、福祉センターや児童保育センターの施設も含めて地域づくりを考えてほしいです。
- スクールバスに小学生が 30 分以上乗るのは厳しいです。
- 1 学級の人数を 15 人程度にしてほしいです。
- 適正規模の基準が今の時代に合っていないです。
- 親の意見も大事だが、子どもの意見を一番に尊重して考えてほしいです。
- これから通う子どもたちの保護者の意見を汲んでほしいが、地域から学校がなくなるのは寂しいです。

教育に関する意識調査結果の概要（抜粋版：学校の規模に関すること）

1 調査の目的

本調査は、市内の児童生徒とその保護者を対象に、学校生活や学校教育全般に関する意識、学校規模、家庭教育、地域とのかかわり、及び小中連携などを調査することにより、今後の学校教育の充実に向けた基礎資料とすることを目的とします。

2 調査の概要

調査期間：令和 5 年 10 月 11 日（水）～令和 5 年 11 月 10 日（金）

調査区分	調査対象及び調査方法	依頼数	回収率
小学校	市内の小学校 25 校及び義務教育学校 1 校の 5 年生、各 1 学級の児童及びその保護者を対象に、学校を通じて調査依頼し、HARP システムにて調査した。（無記名）	児童：700 通	604 通（86.3%）
		保護者：705 通	307 通（43.5%）
中学校	市内の中学校 13 校及び義務教育学校の 2 年生（8 年生）、各 1 学級の生徒及びその保護者を対象に、学校を通じて調査依頼し、HARP システムにて調査した。（無記名）	生徒：425 通	266 通（62.6%）
		保護者：424 通	164 通（38.7%）

3 回答者の属性（児童生徒 問 1・問 2、保護者 問 1～問 4）

調査区分	回答者の属性	
小学校調査	○児童 n=604	（男女比）男子 51.3% 女子 48.7%
	○保護者 n=307	（男女比）男性 10.4% 女性 89.6% （年齢構成）
中学校調査	○生徒 n=266	（男女比）男子 49.6% 女子 50.4%
	○保護者 n=164	（男女比）男性 8.5% 女性 91.5% （年齢構成）

※ 小数点以下第 2 位を四捨五入していることから、全体が 100%にならない場合があります。

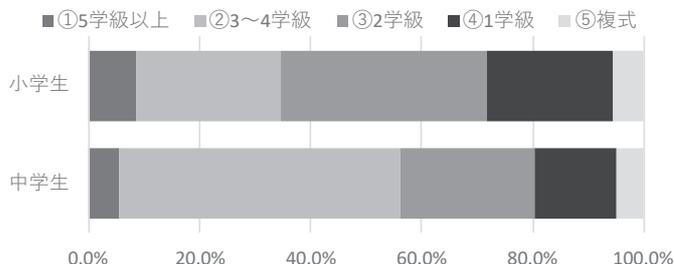
4 結果概要

(1) 児童生徒

問9 一学年あたりの学級数はどの程度がよいと考えますか？

問10 その回答理由はなんですか？（複数回答のため合計は100%にはなりません）

回答選択肢	小学生	中学生
①多い方がいい(5学級以上)	8.4%	5.6%
②極端に多くなければいい(3~4学級)	26.3%	50.4%
③クラス替えができればいい(2学級)	36.9%	24.4%
④1学級がいい	22.9%	14.7%
⑤複式学級でもいい	5.5%	4.9%
計	100.0%	100.0%

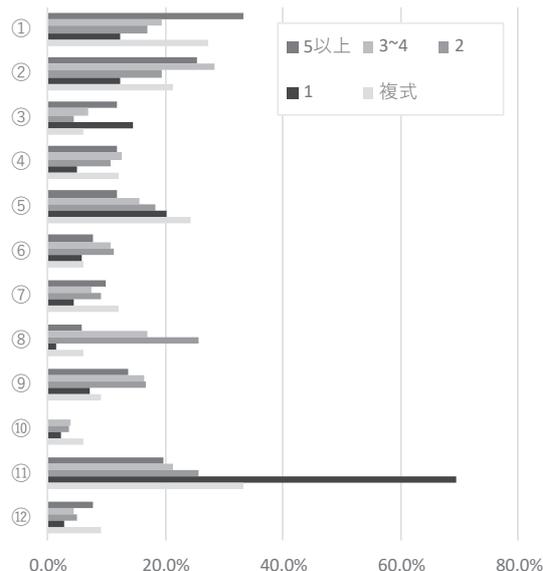


□ 小学5年生 「クラス替えができればいい（2学級）」が最も多く36.9%、次に「極端に多くなければいい（3~4学級）」が26.3%、「1学級がいい」が22.9%と続く。

□ 中学2年生 「極端に多くなければいい（3~4学級）」が最も多く50.4%、次に「クラス替えができればいい（2学級）」が24.4%、「1学級がいい」が14.7%と続く。

<小学5年生：どの程度の学級数がよいかの回答理由>

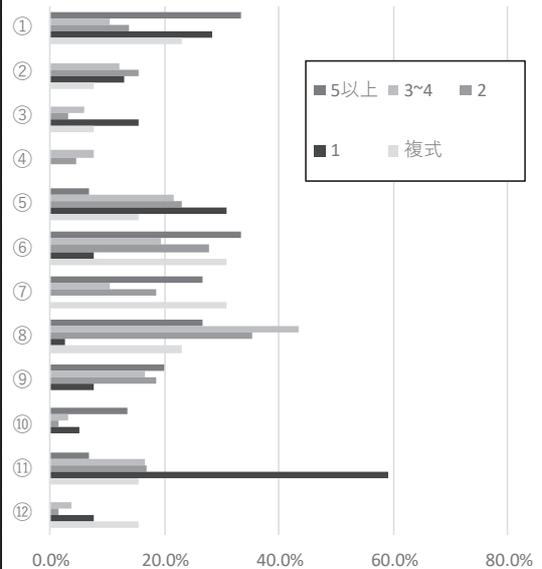
回答選択肢	5以上	3~4	2	1	複式
①学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える	33.3%	19.5%	17.0%	12.3%	27.3%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	25.5%	28.3%	19.3%	12.3%	21.2%
③家庭的な雰囲気の中で勉強できる	11.8%	6.9%	4.5%	14.5%	6.1%
④グラウンド・体育館などの施設や理科室などの特別教室を使つての授業が受けられる	11.8%	12.6%	10.8%	5.1%	12.1%
⑤クラスの中でまとまりができる	11.8%	15.7%	18.4%	20.3%	24.2%
⑥多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく	7.8%	10.7%	11.2%	5.8%	6.1%
⑦刺激があって、友だち関係や先輩・後輩とのコミュニケーションの幅が広がる	9.8%	7.5%	9.0%	4.3%	12.1%
⑧学校行事などでクラス対抗の種目ができる	5.9%	17.0%	25.6%	1.4%	6.1%
⑨仲間と競い合うことで、運動や勉強へのやる気が出る	13.7%	16.4%	16.6%	7.2%	9.1%
⑩少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定されることが減る	0.0%	3.8%	3.6%	2.2%	6.1%
⑪同じ友だちとずっと一緒にいることができる	19.6%	21.4%	25.6%	69.6%	33.3%
⑫その他	7.8%	4.4%	4.9%	2.9%	9.1%
※回答人数	51	159	223	138	33



学級数	回答理由
5 学級以上	「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」と続く。
3~4 学級	「授業などを丁寧に受けられる」が最も多く、次に「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える」と続く。
2 学級	「学校行事でクラス対抗の種目ができる」「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」と続く。
1 学級	「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」「家庭的な雰囲気の中で勉強できる」と続く。
複式	「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」が最も多く、次に「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える」「クラスの中でまとまりができる」と続く。

< 中学2年生：どの程度の学級数がよいかの回答理由 >

回答選択肢	5以上	3~4	2	1	複式
①学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える	33.3%	10.4%	13.8%	28.2%	23.1%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	0.0%	11.9%	15.4%	12.8%	7.7%
③家庭的な雰囲気の中で勉強できる	0.0%	6.0%	3.1%	15.4%	7.7%
④グラウンド・体育館などの施設や理科室などの特別教室を使つての授業が受けられる	0.0%	7.5%	4.6%	0.0%	0.0%
⑤クラスの中でまとまりができる	6.7%	21.6%	23.1%	30.8%	15.4%
⑥多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく	33.3%	19.4%	27.7%	7.7%	30.8%
⑦刺激があって、友だち関係や先輩・後輩とのコミュニケーションの幅が広がる	26.7%	10.4%	18.5%	0.0%	30.8%
⑧学校行事などでクラス対抗の種目ができる	26.7%	43.3%	35.4%	2.6%	23.1%
⑨仲間と競い合うことで、運動や勉強へのやる気が出る	20.0%	16.4%	18.5%	7.7%	0.0%
⑩少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定されることが減る	13.3%	3.0%	1.5%	5.1%	0.0%
⑪同じ友だちとずっと一緒にいることができる	6.7%	16.4%	16.9%	59.0%	15.4%
⑫その他	0.0%	3.7%	1.5%	7.7%	15.4%
※回答人数	15	134	65	39	13



学級数	回答理由
5 学級以上	「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える」「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」が最も多く、次に「刺激があって、友だち関係や先輩、後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」「学校行事等でクラス対抗の種目ができる」と続く。
3～4 学級	「学校行事等でクラス対抗の種目ができる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」と続く。
2 学級	「学校行事等でクラス対抗の種目ができる」が最も多く、次に「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」「クラスの中でまとまりができる」と続く。
1 学級	「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える」と続く。
複式	「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」「刺激があって、友だち関係や先輩、後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」が最も多く、次に「学校行事等でクラス対抗の種目ができる」と続く。

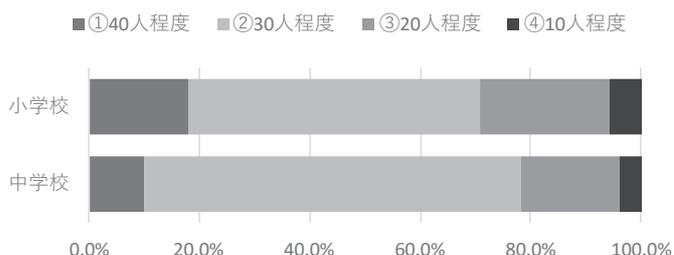
2学級以上の複数学級がよいと考えている小学生は約7割、中学生は約8割となっていて、特に中学生では、3～4学級がよいと考えている人が約5割を占めています。

また、複数学級以上がよいと回答した児童生徒は、「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」などの回答理由が多くなっています。

問 11 小中学校の一学級あたりの児童生徒数はどの程度がよいと考えますか？

問 12 その回答理由はなんですか？

回答選択肢	小学校	中学校
①40人程度	18.1%	10.1%
②30人程度	52.8%	68.1%
③20人程度	23.3%	18.0%
④10人程度	5.8%	3.8%
計	100.0%	100.0%

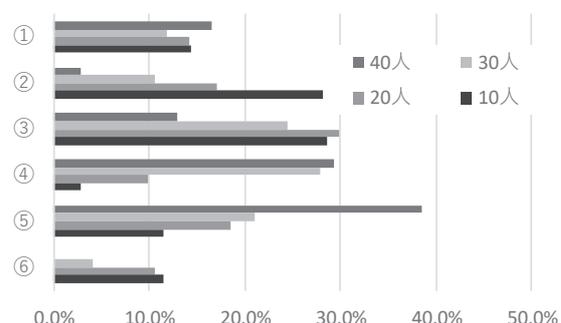


□ 小学5年生「30人程度」が最も多く52.8%、次に「20人程度」が23.3%と続く。

□ 中学2年生「30人程度」が最も多く68.1%、次に「20人程度」が18.0%と続く。

<小学5年生：一学級あたりの人数の回答理由>

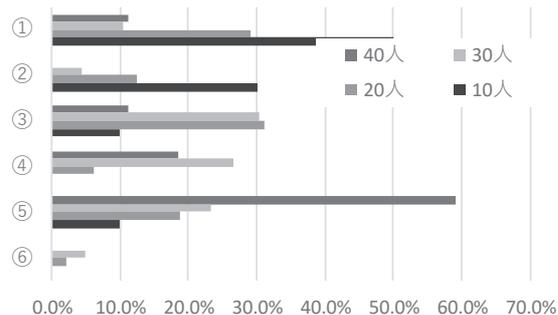
回答選択肢	40人	30人	20人	10人
①学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える	16.5%	11.9%	14.2%	14.3%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	2.8%	10.7%	17.0%	31.4%
③クラスの中でまとまりができる	12.8%	24.4%	29.8%	28.6%
④グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる	29.4%	27.9%	9.9%	2.9%
⑤仲間とのふれあいや刺激がもっと増える	38.5%	21.0%	18.4%	11.4%
⑥その他	0.0%	4.1%	10.7%	11.4%
※回答人数	109	319	141	35



一学級あたりの人数	回答理由
40人程度	「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」が最も多く、次に「グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる」、「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える」と続く。
30人程度	「グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」が、「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」と続く。
20人程度	「クラスの中でまとまりができる」が最も多く、次に「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」、「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」と続く。
10人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」、「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える」と続く。

< 中学 2 年生：一学級あたりの人数の回答理由 >

回答選択肢	40人	30人	20人	10人
①学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える	11.1%	10.5%	29.2%	50.0%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	0.0%	4.4%	12.5%	30.0%
③クラスの中でまとまりができる	11.1%	30.4%	31.3%	10.0%
④グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる	18.5%	26.5%	6.2%	0.0%
⑤仲間とのふれあいや刺激がもっと増える	59.3%	23.2%	18.7%	10.0%
⑥その他	0.0%	5.0%	2.1%	0.0%
※回答人数	27	181	48	10



一学級あたりの人数	回答理由
40 人 程 度	「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」が最も多く、次に「グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる」、「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える」「クラスの中でまとまりができる」が続く。
30 人 程 度	「クラスの中でまとまりができる」が最も多く、次に「グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる」、「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」と続く。
20 人 程 度	「クラスの中でまとまりができる」が最も多く、次に「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える」、「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」と続く。
10 人 程 度	「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」、「クラスの中でまとまりができる」「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」と続く。

小中学生が希望する一学級あたりの児童生徒数の規模は同様の傾向ではありますが、中学生では、「30人程度」の割合が増加しています。

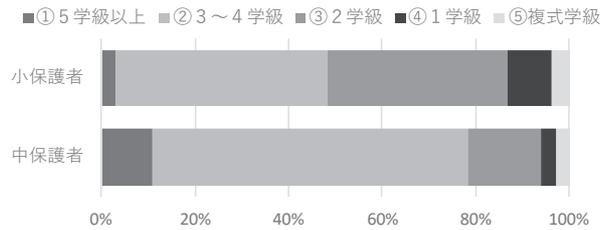
回答理由については、小中学生ともほぼ同様の傾向となっています。

(2) 保護者

問 14 一学年あたりの学級数はどの程度の範囲が適当だと思いますか？

問 15 その回答理由はなんですか？（複数回答のため合計は100%にはなりません）

回答選択肢	小保護者	中保護者
①多い方がいい(5学級以上)	3.0%	11.0%
②極端に多くなければいい(3~4学級)	45.3%	67.1%
③クラス替えができればいい(2学級)	38.4%	15.9%
④1学級がいい	9.4%	3.0%
⑤複式学級でもいい※	3.9%	3.0%
計	100.0%	100.0%

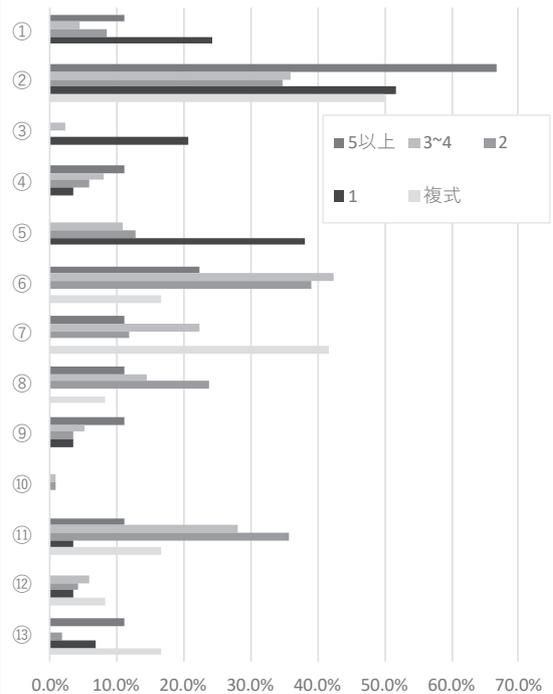


□ 小学5年生の保護者 「極端に多くなければ問題ない(3~4学級)」が最も多く45.3%、次に「クラス替えができれば問題ない(2学級)」が38.4%、「1学級がいい」が9.4%と続く。

□ 中学2年生の保護者 「極端に多くなければ問題ない(3~4学級)」が最も多く67.1%、次に「クラス替えができれば問題ない(2学級)」が15.9%、「多い分には問題ない(5学級以上)」が11.0%と続く。

<小学5年生の保護者：どの程度の学級数がよいかの回答理由>

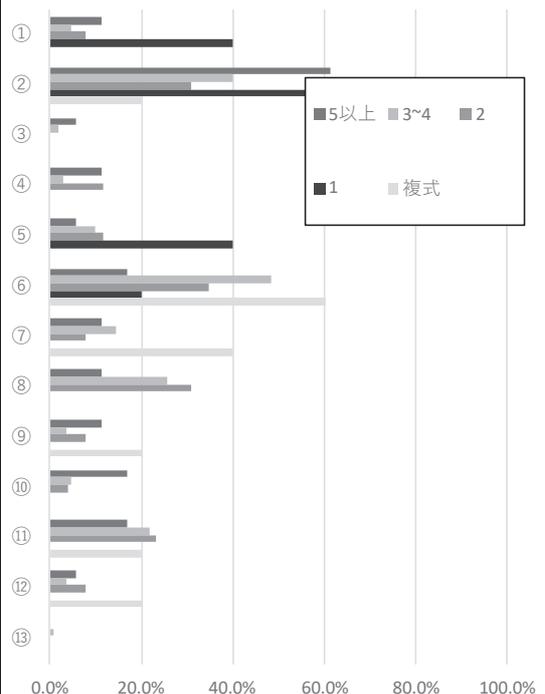
回答選択肢	5以上	3~4	2	1	複式
①学習発表会などで一人一人の出番や活躍が設けられる	11.1%	4.3%	8.5%	24.1%	0.0%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	66.7%	36.0%	34.7%	51.7%	50.0%
③家庭的な雰囲気の中で勉強できる	0.0%	2.2%	0.0%	20.7%	0.0%
④グラウンド・体育館などの施設や理科室などの特別教室を余裕をもって利用できる	11.1%	7.9%	5.9%	3.4%	0.0%
⑤クラスの中でまとまりができる	0.0%	10.8%	12.7%	37.9%	0.0%
⑥集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく	22.2%	42.4%	39.0%	0.0%	16.7%
⑦刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる	11.1%	22.3%	11.9%	0.0%	41.7%
⑧学校行事などでクラス対抗の種目ができる	11.1%	14.4%	23.7%	0.0%	8.3%
⑨勉強などのへのやる気の向上など教育効果が高まる	11.1%	5.0%	3.4%	3.4%	0.0%
⑩少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定されることが減る	0.0%	0.7%	0.8%	0.0%	0.0%
⑪友人関係などの固定化がされなくなる	11.1%	28.1%	35.6%	3.4%	16.7%
⑫切磋琢磨する機会が増える	0.0%	5.8%	4.2%	3.4%	8.3%
⑬その他	11.1%	0.0%	1.7%	6.9%	16.7%
※回答人数	9	139	118	29	12



学級数	回答理由
5 学級以上	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、次に「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」と続く。
3~4 学級	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」、「友人関係などの固定化がされなくなる」と続く。
2 学級	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く、次に「友人関係などの固定化がされなくなる」、「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」と続く。
1 学級	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」、「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が設けられる」と続く。
複 式	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、次に「刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」と続く。

＜中学2年生の保護者：どの程度の学級数がよいかの回答理由＞

回答選択肢	5以上	3~4	2	1	複式
①学習発表会などで一人一人の出番や活躍が設けられる	11.1%	4.5%	7.7%	40.0%	0.0%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	61.1%	40.0%	30.8%	80.0%	20.0%
③家庭的な雰囲気の中で勉強できる	5.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
④グラウンド・体育館などの施設や理科室などの特別教室を余裕をもって利用できる	11.1%	2.7%	11.5%	0.0%	0.0%
⑤クラスの中でまとまりができる	5.6%	10.0%	11.5%	40.0%	0.0%
⑥集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく	16.7%	48.2%	34.6%	20.0%	60.0%
⑦刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる	11.1%	14.5%	7.7%	0.0%	40.0%
⑧学校行事などでクラス対抗の種目ができる	11.1%	25.5%	30.8%	0.0%	0.0%
⑨勉強などのへのやる気の向上など教育効果が高まる	11.1%	3.6%	7.7%	0.0%	20.0%
⑩少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定されることが減る	16.7%	4.5%	3.8%	0.0%	0.0%
⑪友人関係などの固定化がされなくなる	16.7%	21.8%	23.1%	0.0%	20.0%
⑫切磋琢磨する機会が増える	5.6%	3.6%	7.7%	0.0%	20.0%
⑬その他	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
※回答人数	9	139	118	29	12



学級数	回答理由
5 学級以上	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、次に「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」「少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定されることが減る」「友人関係などの固定化がされなくなる」と続く。
3 ~ 4 学級	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」と続く。
2 学級	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」と続く。
1 学級	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が設けられる」「クラスの中でまとまりができる」と続く。
複式	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く、「刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」と続く。

小中学生の保護者とも、約9割が2学級以上の複数学級がよいと考えている。

複数学級以上と回答した保護者は、

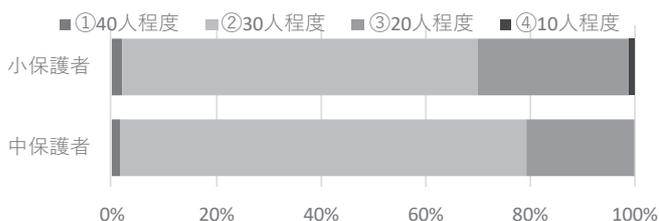
「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」

「刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」などの回答理由の割合が多くなっています。

問 17 小中学校の一学級あたりの児童生徒数ほどの程度がよいと考えますか？

問 18 その理由はなんですか？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①40人程度	2.0%	1.8%
②30人程度	68.0%	77.5%
③20人程度	28.7%	20.7%
④10人程度	1.3%	0.0%
計	100.0%	100.0%



□ 小学5年生の保護者

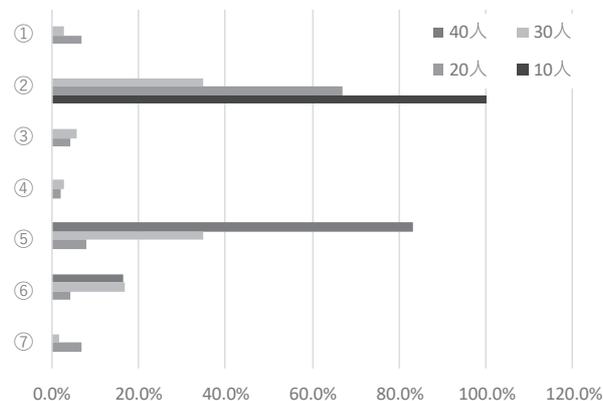
「30人程度」が最も多く68.0%、次に「20人程度」が28.7%と続く。

□ 中学2年生の保護者

「30人程度」が最も多く77.5%、次に「20人程度」が20.7%と続く。

<小学5年生の保護者：一学級あたりの人数の回答理由>

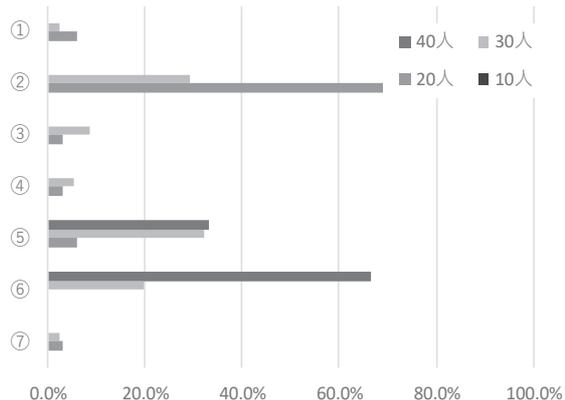
回答選択肢	40人	30人	20人	10人
①学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える	0.0%	2.9%	6.8%	0.0%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	0.0%	34.9%	67.0%	100.0%
③クラスの中でまとまりができる	0.0%	5.7%	4.5%	0.0%
④学校行事や少年団活動・部活動において、児童生徒の一人一人の個別活動を設定しやすい	0.0%	2.9%	2.3%	0.0%
⑤グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる	83.3%	34.9%	8.0%	0.0%
⑥子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要	16.7%	16.7%	4.5%	0.0%
⑦その他	0.0%	1.9%	6.8%	0.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



一学級あたりの人数	回答理由
40人程度	「グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる」が最も多く83.3%、次に「子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要」が16.7%と続く。
30人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」「グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる」が最も多く34.9%、次に「子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要」が16.7%と続く。
20人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く79.4%、次に「グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる」「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍が増える」が5.9%と続く。

< 中学2年生の保護者：一学級あたりの人数の回答理由 >

回答選択肢	40人	30人	20人	10人
①学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える	0.0%	2.4%	5.9%	
②授業などで先制の指導をていねいに受けられる	0.0%	29.1%	79.4%	
③クラスの中でまとまりができる	0.0%	8.7%	2.9%	
④学校行事や少年団活動・部活動において、児童生徒の一人一人の個別活動を設定しやすい	0.0%	5.5%	2.9%	
⑤グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる	33.3%	32.3%	5.9%	
⑥子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要	66.7%	19.7%	0.0%	
⑦その他	0.0%	2.4%	2.9%	
計	100.0%	100.0%	100.0%	



一学級あたりの人数	回答理由
40人程度	「子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要」が最も多く66.7%、次に「グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる」が33.3%と続く。
30人程度	「グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる」が最も多く32.3%、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が29.1%、「子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要」が19.7%と続く。
20人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く79.4%、次に「グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる」「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍が増える」が5.9%と続く。

小中学生の保護者とも一学級あたりの人数は、同様の傾向ではありますが、中学生保護者では、「30人程度」の割合が増加しています。

回答理由は、小中学生保護者ともほぼ同様の傾向となっています。